

フェリー等を一時的な宿泊施設として活用するための実証調査

資料編

2024年3月25日

北海道運輸局

目次

1. フェリー・公共施設等の宿泊利用調査.....	1
(1)参加者の募集.....	1
(2)利用調査の運営(モニター実証調査).....	2
(3)モニターへのアンケート調査.....	10
(4)モニターへのヒアリング調査.....	36
(5)関係者へのヒアリング調査.....	41
(6)モニター及び関係者ヒアリングによる課題の整理.....	49
(7)意見交換会.....	52
(8)最終報告会.....	69

1. フェリー・公共施設等の宿泊利用調査

(1)参加者の募集

本調査のモニター募集は、奥尻島観光協会のホームページに掲載して行った。総勢31名が参加した。

◆参加者総数 31名（内外国人3名） 男性19名（内20歳未満2名）、女性12名（うち20歳未満1名）

	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
男性	2	3	3	3	4	3	18
女性	1	1	5	3	1	2	13
合計	3	4	8	6	5	5	31

奥尻島 **新しい** 宿泊スタイル 調査モニター募集



一時的な宿泊施設としての実用検証
“フェリー”や“温泉施設”を新たな宿泊場所へ。

「奥尻ブルー」と称される美しい海や豊かな自然に恵まれる奥尻島では、徹底的な宿泊施設不足が発生しています。今後、観光シーズンやイベント等で訪れる観光客の宿泊ニーズに対応するため、停泊しているフェリーや温泉施設を一時的な宿泊地として活用する「新しい宿泊スタイル」の導入を検討しています。そこで島内の公共施設や停泊するフェリーを一時的な宿泊場所として活用することを想定した実証調査を実施、「新しい宿泊スタイル」の実現に向けたモニター調査に参加していただける方を募集いたします。



神威協温泉保養所



奥尻町あわび種育苗センター



カランセ奥尻(フェリー)

実施日時 令和5年 12月2日(土)～3日(日)
集合場所 江差港ターミナル（北海道庁本庁舎1階10号待合室）
※交通手段などについては、より詳しい日程の欄を必ずご確認ください。

募集人数 20代以上の男女30名
※1グループ2～4名で参加ください。
 (各グループが集合の場所が異なります。)

宿泊施設
 ■ 神威協温泉保養所
 ■ 奥尻町あわび種育苗センター
 ■ カランセ奥尻(フェリー)
※収容できる宿泊客の人数は異なります。

応募締切 定員になり次第終了

参加特典
 ■ アクティビティ体験券
 ■ 奥尻特産品詰め合わせ

■ スケジュール

<p>1</p> <p>11:00 江差港ターミナル集合 12:00 江差港フェリーターミナル発 (ハートランドフェリー) 14:10 温泉湯女ミルお湯 ～自由行動/体験プログラム～ ※自由行動時間の余裕モデルコースに調整をご確認ください。 夕食(会食) 21:00 指定された宿泊所にて宿泊 ★宿泊所の実用性について調査</p> <p>2</p> <p>7:45 奥尻港フェリーターミナル集合(朝食支給) 8:30 奥尻港フェリーターミナル発 (ハートランドフェリー) 9:00 ★船内でインタビュー&アンケートの実施 10:40 江差港ターミナル到着 11:00 現地解散</p>	<p>■ モニター参加要項</p> <p>1 アンケート及びインタビューへの協力 ご意向は、必ず事前についてアンケート及びインタビューにご参加いただきます。</p> <p>2 モニター支給内容 ① 江差港から温泉保養所までの車賃・フェリー乗車券 ② 奥尻島内を移動するレンタカー(2名・4名で利用いただけます) ③ 神威協温泉の入浴券 ④ 2日の夕食・3日の朝食 ⑤ 朝食・セット ※温泉券で使用するレンタカーは前日届くまで不足しています。 自費で温泉保養所へ移動し、温泉施設に滞在の費用は別途お支払いとなります。 一泊二日の宿泊も対応しております。</p> <p>(3) 自己負担いただくもの ① 自宅から江差港フェリーターミナルまでの往復の交通費 ② 奥尻島内で使用するレンタカーの燃料代 ③ 宿泊施設と上記(2)の交通に発生する費用 ※1: 体験プログラム内容 自由行動の時間には奥尻島が提供する体験プログラムも実施いたします。 ご希望の体験事前にお申し込みください。 ● 奥尻ブルーの海や自然を堪能してください ● 温泉湯女ミルお湯で温泉を堪能してください ● 湯船に浸るのもいいですね</p>
--	--

申込方法 裏面の申込書に必要事項を記載の上、メールまたはFAXでお送りください。

✉ contact@taishi-hkd.jp ☎ 011-221-0035

お問い合わせ先

- モニター調査実施：株式会社TAISHI | 担当：橋本・金沢 | TEL 011-221-0035
- 協力：ハートランドフェリー株式会社、奥尻PT
- ※本調査は北海道庁観光振興課の委託による実施です。モニター募集の募集期間は12月1日より。

(2)利用調査の運営(モニター実証調査)

1)スケジュール(モデル案)】

◇1 日目(12月2日)のスケジュール

午前 11:15	江差港ターミナル集合(行程の説明をします)
午前 11:40	乗船
午前 12:00	江差港フェリーターミナル発(ハートランドフェリー)船内自由行動
午後 2:10	奥尻港ターミナル到着 ～自由行動 / 体験プログラム～奥尻ワイナリー見学
午後 6:30	夕食(会食) 夕食場所:叶寿司(グループごとに決められたテーブルに着席願います)
午後 9:00 (門限)	指定の宿泊場所にて宿泊 ① カランセ奥尻(フェリー)、②神威脇温泉保養所、③奥尻町あわび種苗育成センター
午後 10:00	消灯(静かにお休みください)

◇2 日目(12月3日)のスケジュール

午前 7:00	朝食(2つに分かれます)①叶寿司店内でお弁当 ②フェリーターミナルでお弁当
午前 7:30	レンタカー返却(7:00～7:30 の間に返却ください)
午前 7:45	奥尻港フェリーターミナル集合。スタッフから謝礼品をお受け取りください。
午前 8:00	乗船
午前 8:30	奥尻港フェリーターミナル発(ハートランドフェリー)
	★船内でアンケートとヒアリングにお答えしていただきます。
午前 10:40	江差港ターミナル到着(解散)

【自由行動時間の推奨モデルコースについて】

以下を参考に島巡りをお楽しみください。

午後 2:30 レンタカーを借りて出発～2:40 宮津弁天宮～【以下◆A・B のモデルコース】

◆A コース(最北端経由コース)

～午後 3:00 賽の河原公園(奥尻島北端)～4:00 奥尻ワイナリー見学(約 30 分)～5:15 体験プログラム(約 1 時間)～6:30 夕食～7:50 温泉入浴～9:00 宿泊場所

◆B コース(施設見学優先コース)

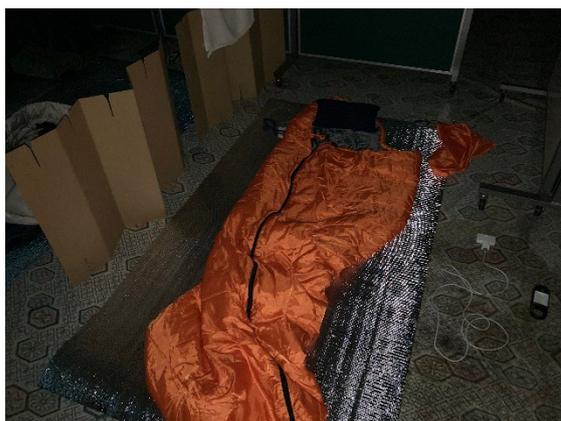
～午後 3:00 奥尻ワイナリー見学～4:00 温泉入浴～5:15 体験プログラム(約 1 時間)～6:30 夕食～8:00 宿泊場所

2) モニター実証調査画像

ア) フェリー カランセ奥尻



(イ)神威脇温泉保養所



(ウ)奥尻町あわび種苗育成センター



(エ) その他奥尻島内での体験



↑奥尻行フェリー乗船



↑レンタカー手続き風景



↑深海松(虹色サンゴ)加工体験



↑海洋ごみアクセサリづくり体験



↑夕食会場



↑奥尻港で記念撮影

3)新聞記事

(ア)北海道新聞(2023年10月3日)

フェリーを宿泊施設に 奥尻で11月実証調査 運輸局など夏季需要へ模索

会員限定記事
2023年10月3日 05:00

あとで読む



奥尻島で宿泊施設として活用を模索するフェリー「カランセ奥尻」(ハートランドフェリー提供)



北海道運輸局函館運輸支局は11月、奥尻島の公共施設や奥尻港に係留したフェリーを宿泊施設として活用する実証調査を行う。将来的に、イベントなど夏季の観光需要に対応できる方法を模索する。北海道本島と離島を結ぶ航路のフェリーを宿泊施設として活用するのは初めてという。

同支局によると、島内には宿泊施設が少なく、現在の収容人数が433人と限られていることに加え、公共工事関係者の長期滞在により予約が取りにくい状況が続いている。観光客の来訪が夏に偏っており、夏季に多く人が宿泊できる場所の確保が急がれている。

調査は、外国人も含めた30人程度を公募し、11月下旬に実施する予定。江差―奥尻間のフェリーを運航するハートランドフェリー(札幌)の「カランセ奥尻」(3631トン)船内と島内の複数の公共施設で、レンタルの寝袋を使い宿泊。食事や観光案内などの課題と収容能力を試算する。(石川実和)

(イ)北海道新聞(2023年12月4日全道版)

打ち上げ願が見直される。探査機打ち上げは、地球が地、糸満市国吉で戦死した。日章旗は沖縄戦に従軍した元米海兵隊の故ウォーレン・マッコラムさん(94)年に77歳で死去が米国に持ち帰り、保管していた。長男のグレッグ・マッコラムさん(70)ジョージア州在住。3月、持ち主の家族に返したいとOBONソサエティに旗の返還を依頼。同団体は日本遺族会と連携して遺族を捜し、奥尻さんになり着いた。奥尻さんは日章旗を手渡した。グレッグさんは「この遺族にとって心の区切りになると思い、直接返したいと考えたと語り、奥尻さんは「亡くなった母が一番喜んでいると思う。悲しい時もあったが、今はうれしい」と話を震わせた。

【奥尻】北海道運輸局函館運輸支局は2、3の両日、宿泊施設不足が課題となっている奥尻島(檜山管内奥尻町)で、港に停泊するフェリーや公共施設を一時的な宿泊施設として活用する実証実験を行った。道内外から31人が参加し、1泊2日の奥尻観光を堪能した。参加者は江差港(同管内江差町)からフェリーで奥尻に渡り、奥尻ワイナリーなどの観光スポットや、夜の食事を満喫した。夜は日帰り入浴施設の広間をフェリーの船内で寝袋を使って寝る参加者たち

奥尻の宿泊まりは船室 函館運輸支局 宿不足対応で実験

奥尻町あわび種苗育成センターの和室、江差―奥尻を結ぶフェリー「カランセ奥尻」の等船室にそれぞれ分かれて宿泊した。このうち、フェリー船室では高さ50センチの段ボールで各自の空間をつくり、フェリーで江差港に戻った。参加者は朝のフェリーに泊まった江差町の公務員牧野友美さん(39)は「浴室や食卓はなかったが、女性用の化粧用室があったのは良かった。船は揺れず、ちゃんと寝られた」と話した。

同支局は「今回の実験で見えた課題を整理し、事業化を目指していきたい」としている。

奥尻島では2019年に唯一の大型ホテルが閉館。その後、複数の大型公共工事の関係者が長期滞在し、観光客の宿泊予約が取りづらい状態が続いている。(宮崎将吾)

宿不足の解消へ フェリーで一晩

函館運輸支局、奥尻で実証事業

【奥尻】北海道運輸局 管内では、ハートランド 館運輸支局は、フェリーと フェリーのカーフェリー 公共施設を 時的な宿泊 、「カランセ奥尻」奥尻の 替施設に活用する実証事業 神威温泉保養所 町あわ に乗り出した。参加モニタ び種苗育成センターの3カ ーからのヒアリングメン 所を宿泊代替施設にして ケイトを実施し、課題と満 2.3の両日に実施した。 足度を検証する。

奥尻島では2018年度 18人、女性13の計31人、 に大型の宿泊施設が閉鎖 松山振興局職員の江差町 し、慢性的な宿泊施設不足 内からの参加が多く、道南 が生じている。また、道路 では函館市、せたな町から や新し町役場建設などの も参加があり、道外では東 公共工事に伴い、工事関係 京や埼玉からの参加もあ 者の長期利用で宿泊施設の た。このうち3人は外国 利用者が上がる一方、観光 による需要を容易に満たせ ない状況だ。

そこで奥尻のイベント時 参加者は江差港からフェ など一時に増加する宿 リーと奥尻島に渡り、奥尻 泊需要に対応すること、 ワイナリーの見学やアサセ、 土産物屋や飲食店などほか、 サリートの体験、飲食店 での食事、神威温泉保養 所での入浴など、奥尻島を満喫、奥尻港、等自席に10人、同保養所 に宿泊するカランセ奥尻2、広間に10人、同センターに

カランセ奥尻船内で就寝する参加者（提供）



温泉保養所なども活用

は2人に分かれて宿泊し 全て船首に向いているため 全話しつらいなところがあっ た。 各宿泊先では個室はなく、 広間での就寝となるため高 等席用のみに限定したた き約50坪のタンポル板で、 各自のスペースを確保、食 どの課題も見つかった。 使されたマットと寝袋を使 、「ハートランドフェリー」で は、船内に常時電気を供給 するため夜通しで充電機を 稼働させ、13人の乗組員が 交代で対応に当たった。

おむね好評

同支局などで収集してい るアンケート結果を基にま とめ、同保養所広間では 一雨漏りが気になったと、 同保養所広間では 社江差支店の佐藤樹支店 の感想があった一方、海が 穏やかで揺れがほとんどな かなか良かったと聞いて かったフェリー利用者の評 価はおおむね好評で、約8 割のモニターがまた利用し たいと回答しているとい う。

改善要望では、午後10時 にしていた就寝時間が早 い方があった。フェリー では「モニターが少ない」 けた検討を、「椅子が」 や「唯一の飲食可とした椅子 席の等座席」椅子が

(入江智)

(3)モニターへのアンケート調査

参加モニター31名及び宿泊モニターとして参加した関係者7名に対し、アンケート調査を行った。

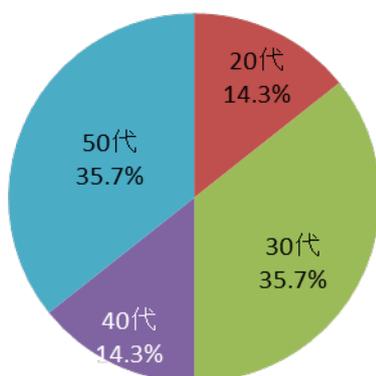
1)フェリー宿泊者

○調査実施日 令和5年12月2日(土)～3日(日)

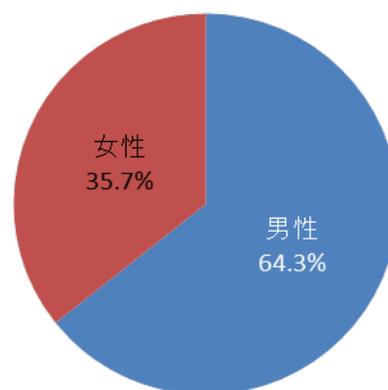
○参加者 14名(男性9名、女性5名)

◆回答者の属性

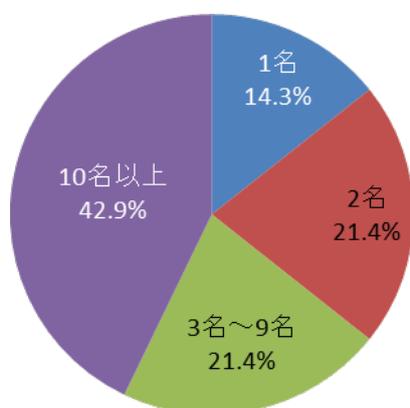
年代(n=14)



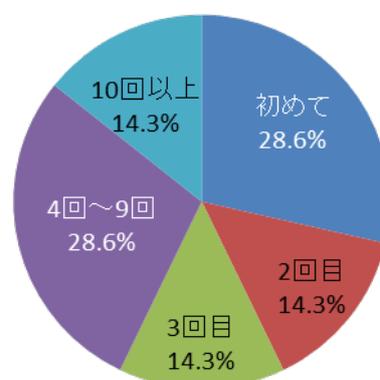
性別(n=14)



同行者人数(n=14)



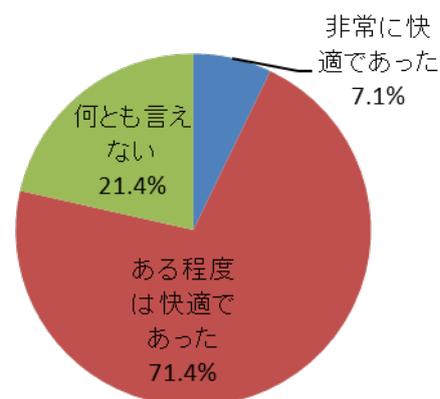
奥尻島来訪回数(n=14)



◆フェリーでの宿泊について

フェリーでの睡眠に関しては「快適であった」との回答が大多数である。
 (非常に快適であった 7.1%、ある程度快適であった 71.4%。合計 78.5%が快適と答えている。)
 「快適でなかった」との回答は見られなかった。

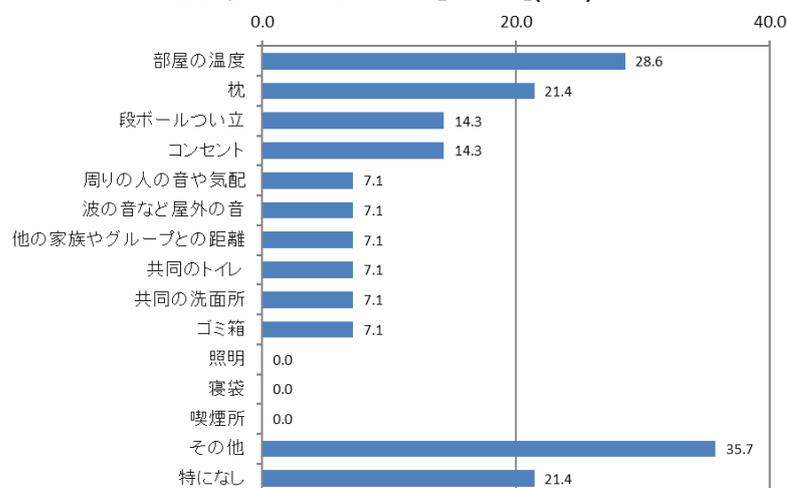
宿泊場所での睡眠【フェリー】(n=14)



◆宿泊場所で気になったこと

フェリーでの宿泊で気になったことでは、「部屋の温度(高すぎ)」「枕」「段ボールつい立」「コンセント」の順に多く回答された。

宿泊場所で気になったこと【フェリー】(n=14) (%)



◆宿泊場所で気になったこと(自由回答)

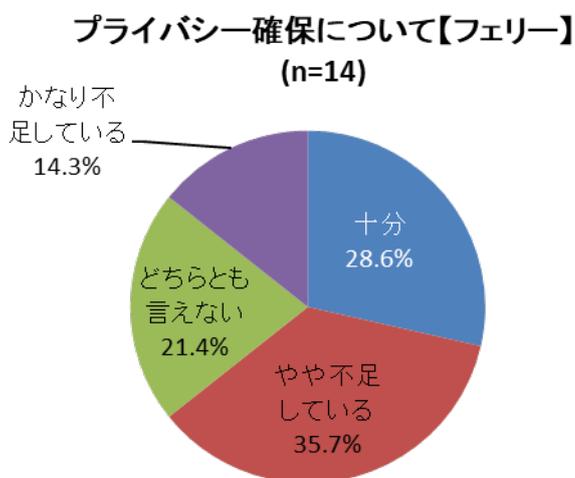
- 空調の音が気になったくらいで、他は快適に過ごすことができました。
- 船の音が聞こえていたので、他人の話し声など気にならなかった。
- レディースルーム横にパウダールームがあったので使いやすかった。過ごしやすかった。
- プライベートの確保(衝立の高さ)、仕切り用カーテンみたいなものがあれば尚 OK。
- 薄いマットを敷いたものの、長時間眠るにはやや床が固く感じました。眠ることができたので、宿泊するのに支障というほどではありません。
- 大人数になると→コンセントの数、Wifi などが問題になるかもしれない。
- 今回は隣で寝てる方が知っている者なので安心だったが、全く知らない人だと少し心配。
- 波の音や揺れもなく非常に静かであったが、天気が悪い時はどうなるのか気になる。
- 洗面所の数。着替えの場所。

- 段ボールでのつい立はすぐに倒れてしまうため、しっかりとした「つい立」がほしい。
- 枕が高かったのと、多少暑かった。
- 枕の衛生面。部屋が暑かった。寝袋があるので少し寒くて良い。
- コンセントの少なさ。
- 今回は家族での参加ではなかったが、家族での参加となった時は距離感やプライバシーへの配慮は気になるところ。
- 宿泊施設とするのであれば、スリッパ・アメニティ(販売)があると良いと感じた。
- 消灯時間後、寝てる間暑かった。
- 周りの人の音が気になりあまり寝れなかった。
- 枕元に電源があると良かった。

◆プライバシー確保

プライバシー保護に関しては特に問題ないと感じている回答が多い。(十分 28.6%、やや不足 35.7%で、合計 64.3%はそれほど問題と感じていない)

「かなり不足している」は 14.3%であった。



◆プライバシー確保面での改善点(自由回答)

- 特に気にならない。
- 特になし。ただし、個人差はあり、女性は気になるかもしれない。
- プライバシーを気にする人は、そもそも難しいと感じる。
- テントのような個別空間があるとプライバシー確保ができる。
- 家族で参加することを考えると、もっとプライベート空間があった方が良いと感じた(テント設置はいいと思いました)
- ある程度のプライバシーを確保するため、50~70 cm程度の高さを持つつい立がほしい。
- 段ボールのつい立でも仲間内なら気にならないが、知らない人がいたら気になると思う。
すぐ倒れるので、もう少し丈夫な物の方がありがたい。
- 音の部分がすごく気になった。

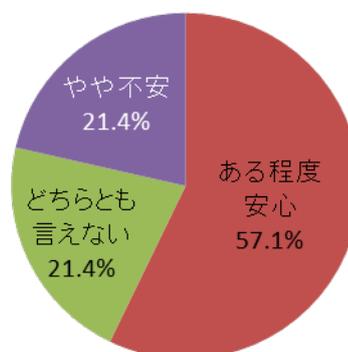
- 自由席ワンルーム、多くて10名が限界かと…。

◆防犯面

防犯面の印象では、半数以上が安心と感じている。(「非常に安心」はゼロであったが、57.1%は「ある程度安心」と回答)。

「やや不安」は21.4%であった。

防犯面について【フェリー】(n=14)



◆防犯面での改善点

○特に気にならなかった。

○特になし。財布くらいしか貴重品がなかったので、自己管理で充分かと。

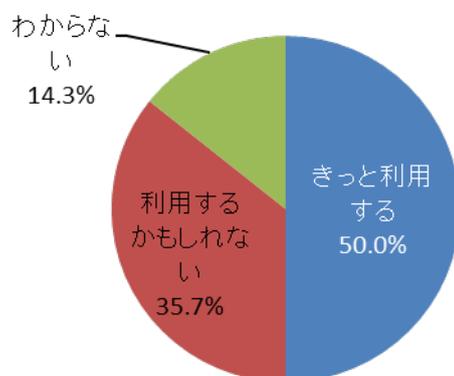
- 荷物を預けられる場所があると良い。
- レディースルームと言ってもカーテンで区切られているだけ。完全に安心ではないので、鍵付きの個室の開放もしくはテントのレンタルができると良いと思います。
- 貴重品が預けられるような小型のロッカーがあったら良いと思う。
- 夜真っ暗だったので、トイレに行く時少し不安だった。可能なら廊下の照明はもう少し暗めにして常時つけておいてもらえると良いと思う。
- 通路と部屋の間にもカーテンがほしい。

◆イベントやコンサートでの利用意向

イベントやコンサートでのホテルが取れなかったときに、フェリーでの宿泊を利用するかとの問いに対しては、大半が利用する可能性を示した。(「きっと利用する」50%、「利用するか

もしれない」 35.7%で合計 85.7%が利用の可能性を示した。）
「利用しない」との回答は見られなかった。

イベントやコンサートの為の宿泊意向
(n=14)

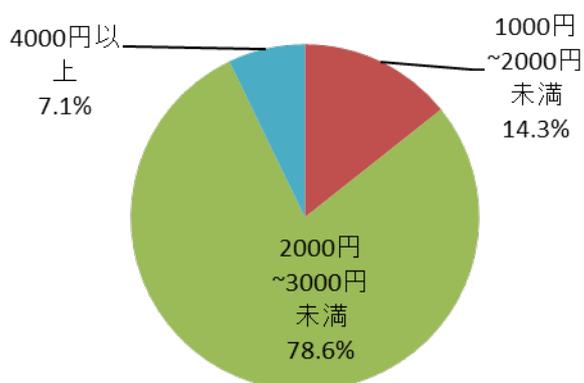


◆イベントやコンサートでの利用料金

イベントなどの際に宿泊場所としてフェリーを使う場合に、妥当と感じる 1 泊の料金の回答では、「2,000 円～3,000 円」の回答が最も多く 78.6%を占めた。

次いで多いのは、「1,000～2,000 円」(14.3%)、「4,000 円以上」(7.1%)であった。

妥当と思う宿泊料金(n=14)



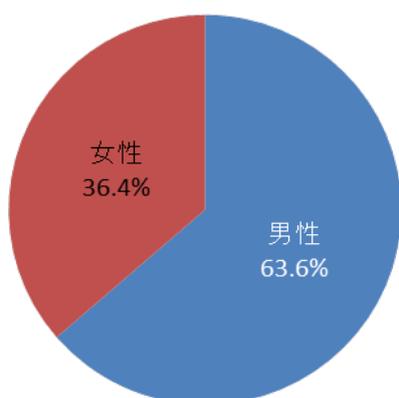
2) 神威脇温泉保養所宿泊者

○調査実施日 令和5年12月2日(土)~3日(日)

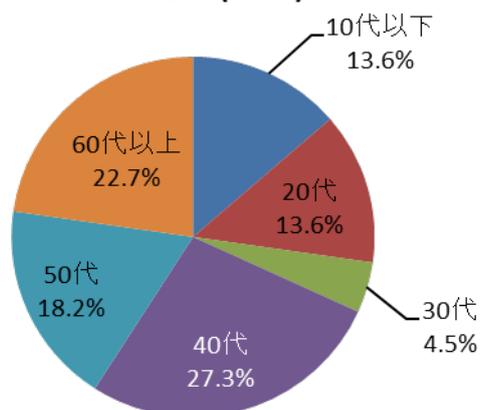
○参加者 22名(男性14名、女性8名)

◆回答者の属性

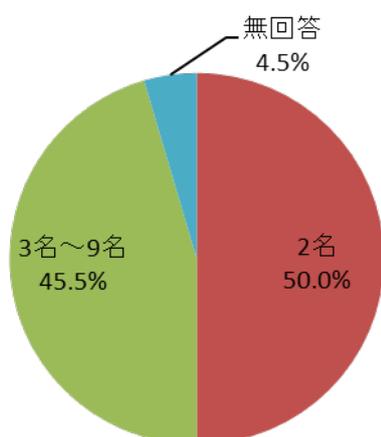
性別(n=22)



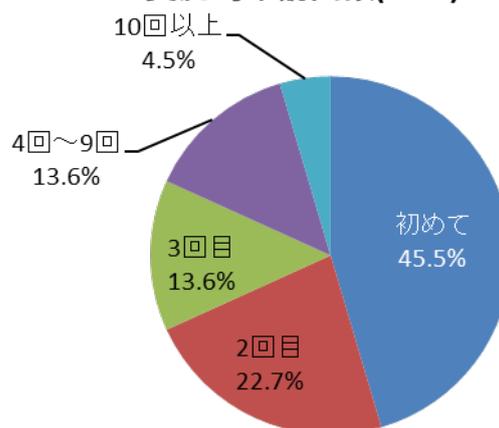
年代(n=22)



同行者人数(n=22)



奥尻島来訪回数(n=22)

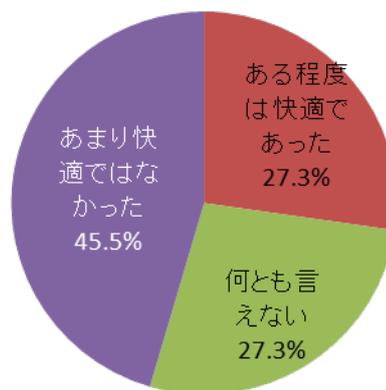


◆神威脇温泉保養所での睡眠について

神威脇温泉保養所での睡眠に関しては「あまり快適ではなかった」との回答が大多数(45.5%)を占めた。

「ある程度快適であった」との回答は27.3%であった。

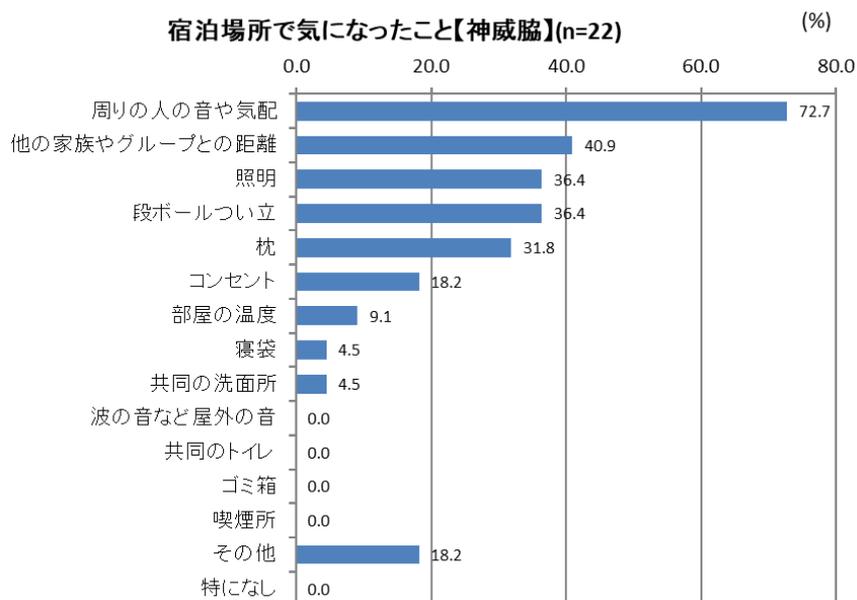
宿泊場所での睡眠【神威脇】(n=22)



◆宿泊場所で気になったこと

神威脇温泉保養所での宿泊で気になったことでは、「周りの人の音や気配」が最も多く72.7%が回答した。

次いで多いのは「他の家族との距離」「照明」「段ボールつい立」「枕」などであった。



◆宿泊場所で気になったこと(自由回答)

- いびきがすごかった。中々眠れませんでした。
- 周りの方のいびきの音が激しくてあまり寝られませんでした。
- 隣のグループとの距離が近すぎて、いびきで眠れなかった。

- 避難所のような雰囲気があって、もう少しつろげる環境がほしかった。夜中のトイレの出入りなども気になりました。
- 周りの人のガサガサ音や非常口の照明が意外と明るかった。
- 周りの音が入ってきた。
- 雨漏りの水滴の音が気になった。
- 雨漏りの音が気になりました。
- 雨漏りで隣のグループとの距離がかなり近かった。
- 雨漏りの音と人が部屋から出る時の音が気になったので、何回も目覚めました(寝る場所は通路側)
- 人の声や、温度が高いように感じた。
- 入り口に近い席なので、人が出るときの音が気になりました。
- 消灯になってから準備する人の音が気になった。3人で使うには狭い気がした。
- 非常灯の灯が気になった。
- 非常灯の灯が明るかった。
- 非常口の照明がまぶしい。
- 非常口の光が眩しく感じました。
- 室内灯(蛍光灯)が半分ぐらい点かず暗かったです。
- 寝袋だと背中が痛くなりました。他のグループと就寝時間が違うので気を遣いました。
- 段ボールが低すぎてプライベート感が全くなかった。
- 段ボールが倒れやすく、周りの人のお邪魔になるかなあ…とずっと心配でした。
- 衝立用の段ボールが揺れ揺れで何度も倒れてしまったので、心配のあまり大きい動きをしないようにずっと意識してあまり眠れなかったです。
- 段ボールつい立は、高さがもう少しほしかった(プライベートの確保)。
- 洗面所は朝等込み合う時間帯は使いにくくなるかもしれない。
- ドライヤーの数が少ないのが気になった。
- 場所によってはコンセントが遠く、スマホなどの充電に不便する。
- 市街地(フェリー乗り場)への遠さ(冬など道の悪い時期)。
- 季節によっては温度が気になりそう(廊下側が寒い、空調から遠いと暑い等)。
- 暑かったので暖房を切ったが、他の宿泊客が寒くならないか気にかかった。
- 空気枕だと首が安定しない。
- 空気枕が吹きにくかった。
- 枕に空気を入れにくかったので使いませんでした。
- 距離感近いので音や気配はやむを得ない。枕の新品の臭いがキツイので使用しなかった。
- 枕や暖房が用意されている点は快適であったが、周りの人の寝息等が気になり起きてしまうことがあった。

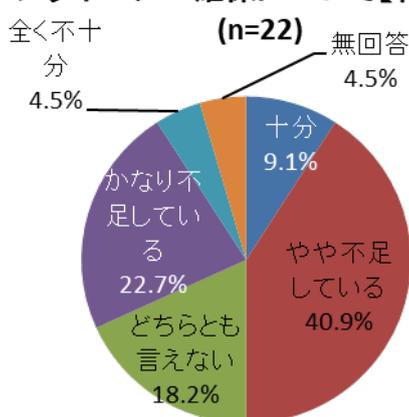
- 朝起きるタイミングが合わず、周りの足音やドアの開け閉めによる音、廊下での話声で何度も目が覚めました。
- 温泉施設としては、なかなか良い泉質で気持ち良く入ることができましたが、宿泊施設としては、コンセントも使えない、Wifiがないという部分ですこし改善が必要に感じました。また、マットレスなどを有料で貸し出すサービスや、入浴を深夜帯まで入れるようになれば good です。
- Wi-fiがないことは少し不便でした。

◆プライバシー保護

プライバシー保護に関しては特に問題ないと感じている回答が約半数を占める。「十分」9.1%、「やや不足」40.9%で、合計 50.0%はそれほど問題と感じていない)

「かなり不足している」は 22.7%、「全く不十分」が 4.5%であった。

プライバシー確保について【神威脇】



◆プライバシー確保面での改善点(自由回答)

- 段ボールのつい立が低かった。
- 壁の増設。
- せめて高いパーティションで仕切ってほしかった。
- 高さのあるつい立を増やしてほしいです。
- 通路がひとつだったため、自分たちのスペースの前や他人のスペースの前を通るのが嫌だった。
- 段ボールの代わりに、安定性がある衝立を設置してほしいです。
- 通路側も安定性がある衝立を設置してほしいです。
- 周囲との仕切りを高くしていただくと、視線が気にならず快適に過ごせると感じた。
- パーティションを追加した方が良いと思う。
- 段ボールじゃないものでグループを分けてほしいです。
- 大部屋でもいいので、もう少ししっかりとしたつい立があればいいと思います。
- パーティションの高さや配置の仕方(通路から見えにくくすること)。出入口に近い場所の人は気になると思います。

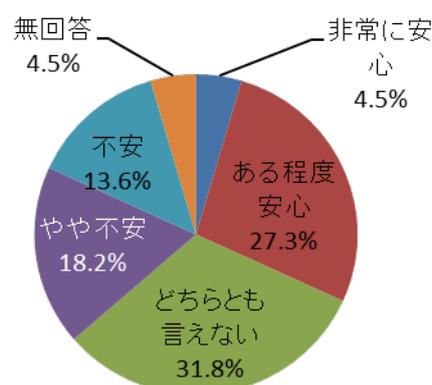
- 動線の確保の仕方は配慮が必要かも(足音)。
- 宿泊について:朝の起床時間が決まっていたので、朝 4 時から片付けしてる方がいたり、みんな起きているのに電気が暗いままだったりと色々問題あり。起床時間で場所を分ける等も必要かなと思います。
- 値段に応じてプライバシーの改善をして頂ければよいかなと思います。

◆防犯面

防犯面の印象では、安心と感じている回答は 30%程度であった。(「非常に安心」4.5%、「ある程度安心」27.3%で合計 31.8%は安心と回答)。

「やや不安」は 18.2%、「不安」は 13.6%で、不安とする回答も合計 31.8%であった。

防犯面について【神威脇】(n=22)



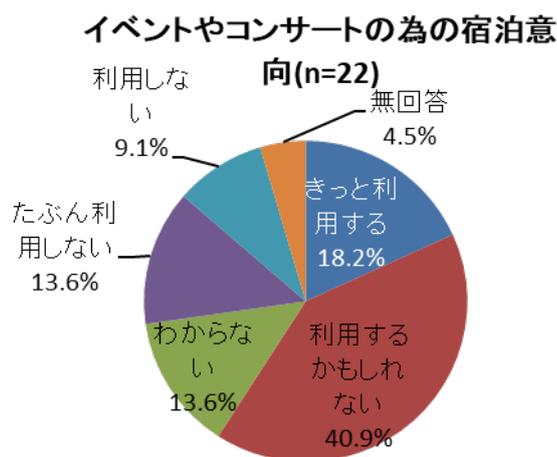
◆防犯面での改善点

- 貴重品入れがあったら良いと思いました。
- 貴重品ロッカーが欲しかった。
- ロッカー等の荷物を保管できる場所がほしい。
- 貴重品を預かってくれる場所(ロッカー)がほしかった。
- コインロッカーのようなものがあると良いのかな。
- ロッカー等があれば尚良い。
- ロッカーなどがあれば嬉しいです。
- 寝る場所の近いところに金庫を設置してほしいです。
- 今回はモニターなので特に不安はなかったが、実際に宿泊した場合には貴重品の保管ロッカーなどはあった方が良い。
- 貴重品を保管するロッカーがほしいです。
- 施錠等が十分に行われていなかった点がやや不安に感じた。
- 女性だけのグループには少し不安があったので、女性は部屋を別にしてもらえると良い。
- 女性一人での宿泊の場合は、部屋をもっとしっかり分けたりできたらよいと思います。

●値段に応じて対応すればよいかなと思います。財布などを入れる小さいコインロッカーなどがあれば安心です。脱衣場でもロッカーが無いので、そういったところに置いていただくと嬉しいです。

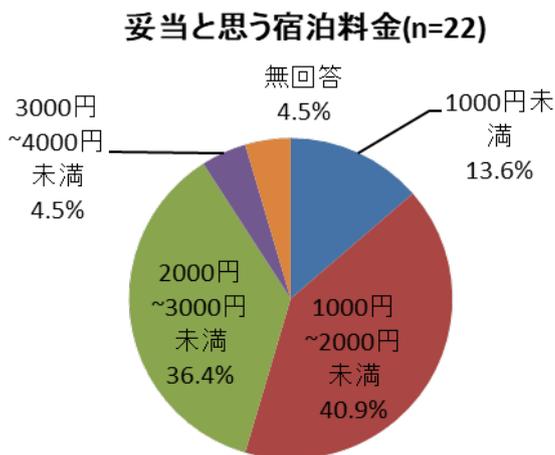
◆イベントやコンサートでの利用意向

イベントやコンサートでのホテルが取れなかったときに、神威脇温泉保養所での宿泊を利用するかとの問いに対しては、大半が利用できる可能性を示した。「きっと利用する」18.2%、「利用するかもしれない」40.9%で合計59.1%が利用の可能性を示した。）



◆イベントやコンサートでの利用料金

イベントなどの際に宿泊場所として神威脇温泉保養所を使う場合に、妥当と感じる1泊の料金の回答では、「1,000円～2,000円」(40.9%)と「2,000～3,000円」(36.4%)が多く回答された。次いで多いのは「1,000円未満」(13.6%)であった。



3)奥尻あわび種苗センター

○調査実施日 令和5年12月2日(土)~3日(日)

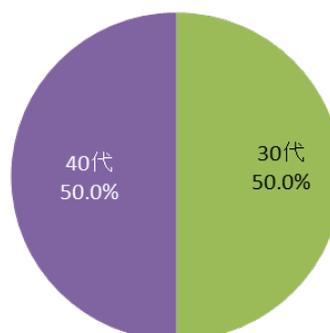
○参加者 2名(男性2名)

◆回答者の属性

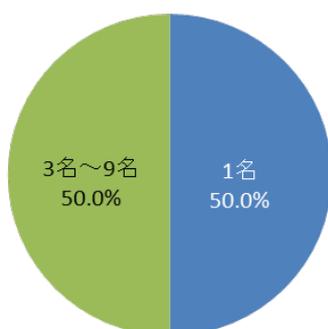
性別(n=2)



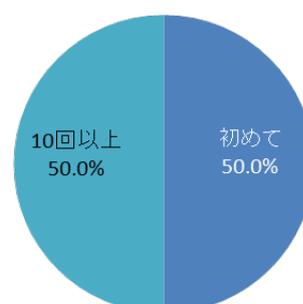
年代(n=14)



同行者人数(n=2)



奥尻島来訪回数(n=2)



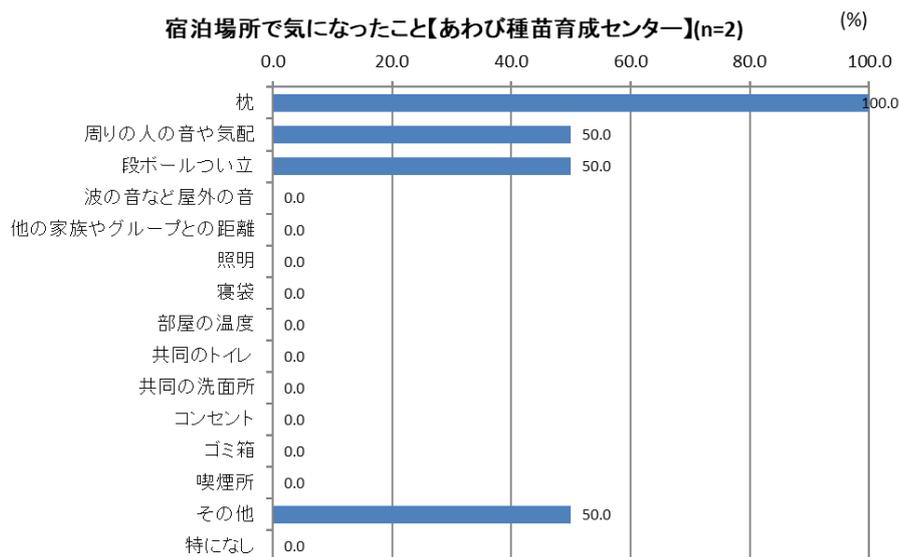
- ◆あわび種苗育成センターでの宿泊について
あわび種苗育成センターでの睡眠に関しては、宿泊者 2 名とも「ある程度快適であった」と回答した。

宿泊場所での睡眠
【あわび種苗育成センター】(n=2)



- ◆宿泊場所で気になったこと

あわび種苗育成センターでの宿泊で気になったことでは、2 名とも「枕」を挙げ、「周りの人の音や気配」「段ボールつい立」がそれぞれ 1 名の回答であった。

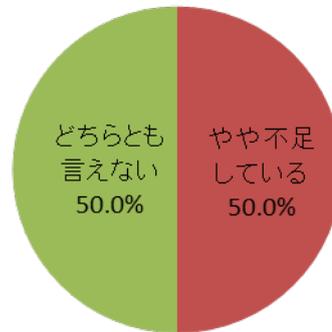


- 簡易なまくらなのでやむを得ないが小さかった。段ボールのつい立は非常に有効だったが、もう少し安定して自立してほしい(触ると倒れてしまう)。
- 畳の上に銀マット・寝袋だと床がかたくて体が痛かった。耳栓を用意してほしい。

◆プライバシー確保

プライバシー保護に関しては、「やや不足している」「どちらとも言えない」がそれぞれ 1 名の回答である。

プライバシー確保について
【あわび種苗育成センター】(n=2)



◆プライバシー確保で改善してほしい点(自由回答)

- グループ単位で泊まれること。
- つい立をもう少し高さのあるものにすると思い。

◆防犯面

防犯面の印象では、2 名とも「ある程度安心」と回答した。

防犯面について
【あわび種苗育成センター】(n=2)



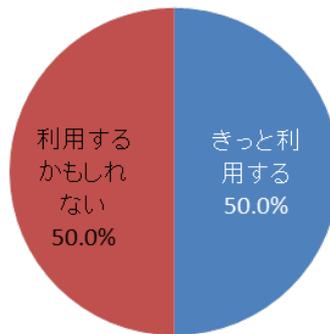
◆防犯面の改善点(自由回答)

- 入浴の際の荷物の管理。

◆イベントやコンサートでの利用意向

イベントやコンサートでのホテルが取れなかったときに、あわび種苗育成センターでの宿泊を利用するかとの問いに対しては、2名とも利用する可能性を示した。「きっと利用する」、「利用するかもしれない」各1名)

イベントやコンサートの為の宿泊意向(n=2)



◆イベントやコンサートでの利用料金

イベントなどの際に宿泊場所としてあわび種苗育成センターを使う場合に、妥当と感じる1泊の料金の回答では、2名とも「2,000円～3,000円」の回答であった。

妥当と思う宿泊料金(n=2)



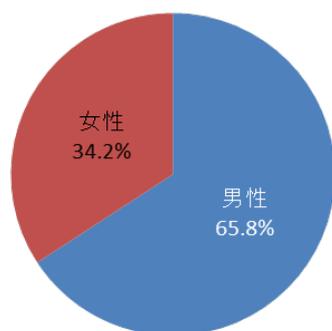
4)全モニター

○調査実施日 令和5年12月2日(土)~3日(日)

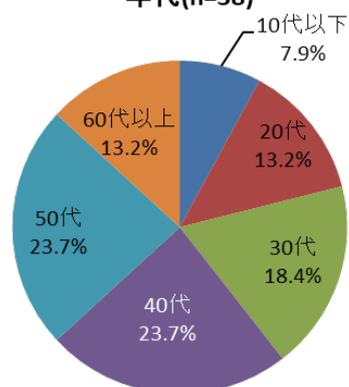
○参加者 38名(男性25名、女性13名)

◆回答者の属性

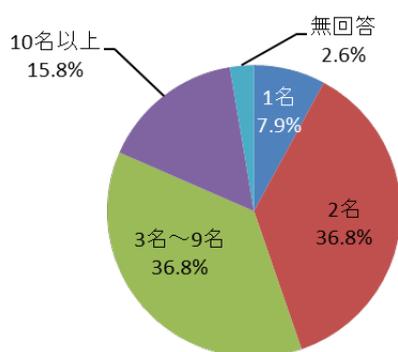
性別(n=38)



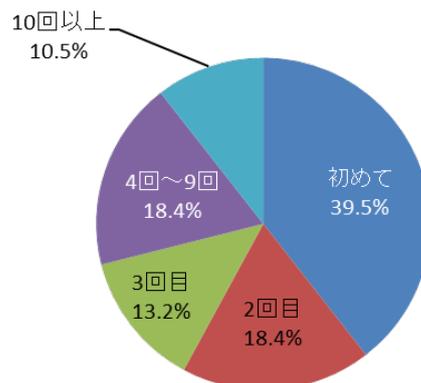
年代(n=38)



同行者人数(n=38)

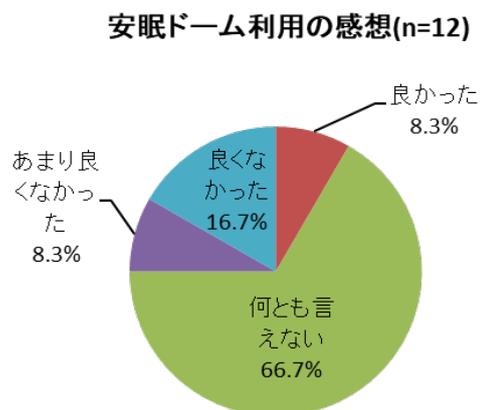


奥尻島来訪回数(n=38)



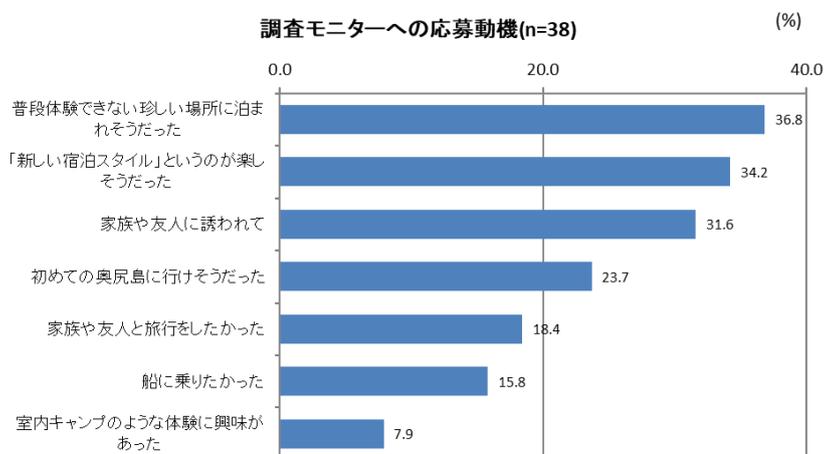
◆安眠ドームの感想

安眠ドームを利用した12名の感想では、「なんともいえない」との回答が最も多かった。「良かった」との回答は8.3%のみであった。「あまり良くなかった」(8.3%)、「良くなかった」(16.7%)で、不満回答は25.0%であった。



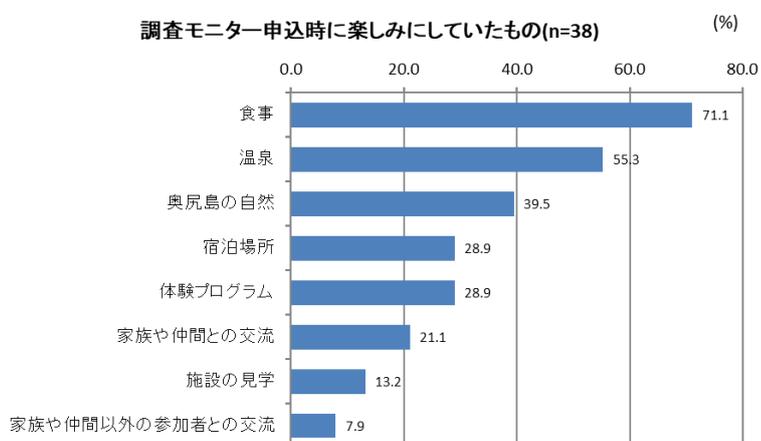
◆モニター応募動機

今回の調査モニターへの応募動機は、「普段体験できない珍しい場所に泊まれそうだった」「新しい宿泊スタイルというのが楽しそうだった」などの回答が多い。



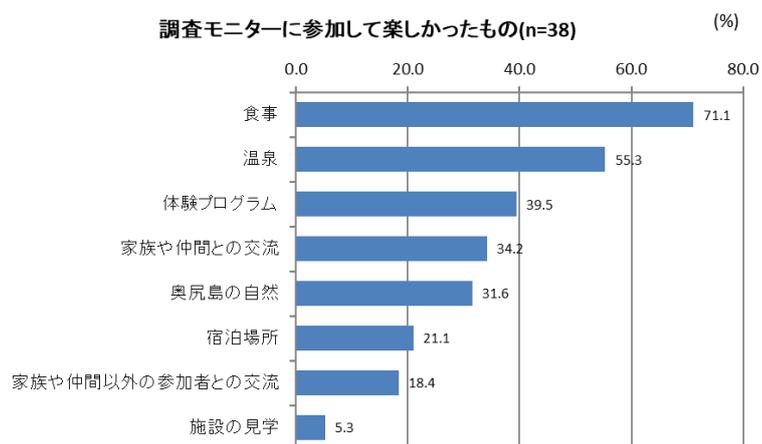
◆モニター申し込み時に楽しみにしていたもの

調査モニター申し込み時に楽しみにしていたものでは、「食事」「温泉」が多く、次いで「奥尻島の自然」「宿泊場所」「体験プログラム」などが続いている。



◆モニターに参加して楽しかったもの

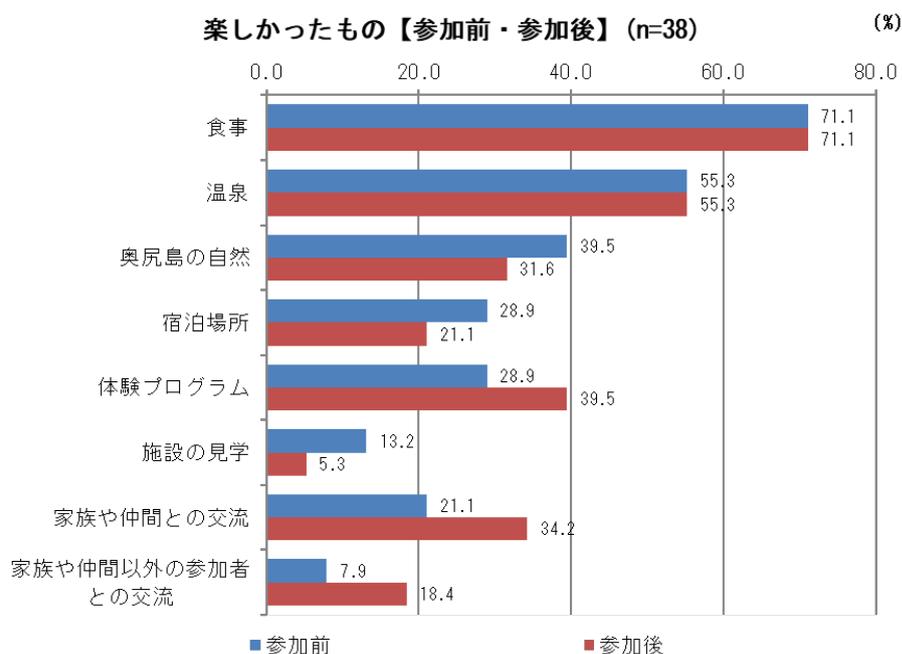
実際にモニターに参加して楽しかったものの回答でも、「食事」「温泉」が多く回答されたが、次いで「体験プログラム」「家族や仲間との交流」などが多く回答された。



◆モニター申し込み時と参加後の比較

モニター申し込み時と参加後の楽しさの内容を比較すると、「食事」「温泉」などは参加前と参加後の比率は変わらないが、「体験プログラム」「家族や仲間との交流」「家族や仲間以外の参加者との交流」については、参加前よりも参加後の方が多く、今回の調査モニターで期待を上回る魅力ポイントであったことがわかる。

これとは逆に「奥尻島の自然」は時期の問題もあってかやや少なくなり、また「宿泊場所」も参加後の方が少なくなっている。

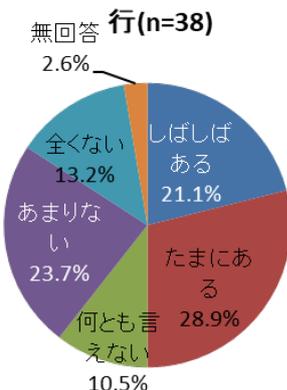


◆イベント等での宿泊経験

地域のイベントやコンサートに行くために宿泊旅行をすることがあるかとの問いに対し、約半数が「ある」と答えた。（「しばしばある」21.1%、「たまにある」28.9%で、合計 50.0%）

「あまりない」(23.7%)、「全くない」(13.2%)など、宿泊経験が少ないという回答は合計 26.9%であった。

イベントやコンサートの為の宿泊旅行(n=38)

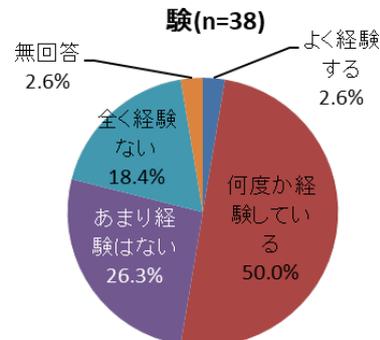


◆イベント等での宿泊経験・雑魚寝経験

フェリーや宿泊可能な温浴施設などで、知らない人と同じ空間で雑魚寝をした経験は約半数の回答者が「ある」と答えた。（「良く経験する」2.6%、「何度か経験している」50.0%）

「あまり経験はない」(26.3%)、「全く経験ない」(18.4%)で、合計 44.7%は経験がないと答えている。

知らない人と同じ空間での雑魚寝経験(n=38)

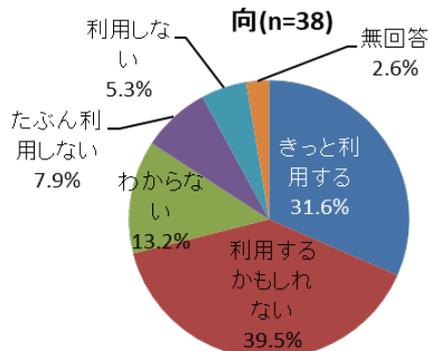


◆今回使用した施設の利用意向

好きなコンサートや地域のイベントにどうしても行きたい時に、ホテルなどの宿泊施設が満員で取れなかった場合、今回のような宿泊場所を利用するかとの問いに対し、約 70%が利用すると答えた。（「きっと利用する」31.6%、「利用するかもしれない」(39.5%)で合計 71.1%）

「たぶん利用しない」は 7.9%、「利用しない」は 5.3%で、利用しない可能性の回答は合計 13.2%であった。

イベントやコンサートの為の宿泊意向(n=38)

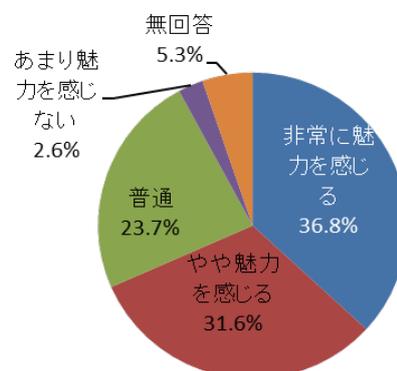


◆神威脇温泉の評価

神威脇温泉(入浴)の感想では、魅力を感じるとの感想が70%近くを占めている。「非常に魅力を感じる」(36.8%)、「やや魅力を感じる」(31.6%)で合計68.4%が魅力を感じている。

「あまり魅力を感じない」は2.6%と少数回答であった。

神威脇温泉の感想(n=38)



◆神威脇温泉の感想(「非常に魅力的」と答えた回答者)

- 温泉の質が良かった。昭和感。
- あまり手を加えないところ。
- 施設は老朽化しているが、お湯の質は良いように感じた。設備が充実しているとは言えないが、その分泌湯感があり、それで良いのだと思う。
- 非常に良い湯であった。
- 身体がしばらくぼかぼかで最高でした。
- 泉質がすごく良かった。源泉かけ流しも魅力的だったので、もっとPRしてもよい。
- シャンプー、リンス、ボディソープ、ドライヤーの備え付け。2階の展望風呂の温度も丁度良い。
- 外観含め雰囲気が良い。
- 泉質が素晴らしい。お湯の温度の高さ。
- 泉質の良さ。なかなか気軽に行けない立地。
- うわさで聞いていた通りとても良い温泉でした。
- 温度が熱くて気持ち良かった。2階のお風呂がもう少し遅くまでは入れると良い。2回のお風呂の洗面所にお湯が出ると良い。トイレのスリッパが2足ほしい。消灯が早く、別室で飲んだりできれば良いと思う。
- 泉質。1階は熱くて入れない。
- 寝る時まで体がポカポカだったから泉質が良い。

◆神威脇温泉の感想(「やや魅力的」と答えた回答者)

- 泉質が良かった。
- 洗う場所の座るイスが少なかったけど、水質が良かった。
- 古いですが清潔感があって泉質も良いです。
- ロケーションも良いし、温泉も良かった。

○泉質が良く効能がありそうに感じたが、サウナ等が設置されていない点がややマイナスに感じた。

○Wifi があるとなお嬉しいですしサウナや外気浴スペースがあるとなお良い。

○体の芯まで温まる温泉で良かったです！

○泉質がとても良かったです。

◆神威脇温泉の感想(「普通」と答えた回答者)

○サウナがない。

○施設自体が少し狭く感じた。

○魅力的ではないが、あれば入るかな程度。

○ぬるめと言われていた 2 階の大浴場でも十分に熱い。水で温度を下げた良いと言われても、他の一般客(熱めの風呂が好きな人)に嫌な目で見られることもあるので、神威脇温泉だけに入力を頼るとなると、ファミリー(子連れ)対応は困難。

○ドライヤーが少ない点。バスタオルの販売がなかった点。備品の不足を感じました。温泉は気持ち良かったです。

○熱すぎてゆっくり入れない。

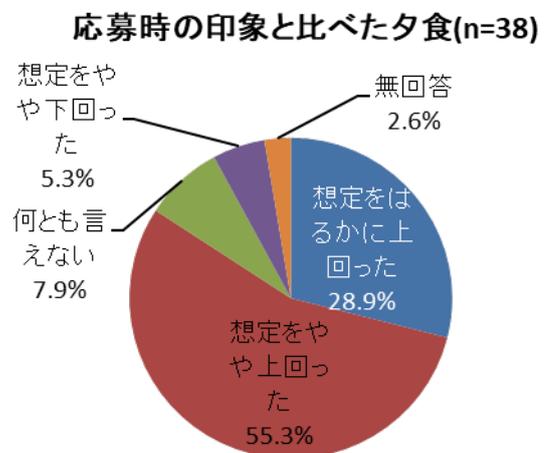
◆神威脇温泉の感想(「あまり魅力的ではない」と答えた回答者)

○温泉が熱すぎて入った気がしなかった。

◆食事(夕食)の評価

調査モニターに応募した時点の印象と比べた実際の食事(夕食)の印象では、想定を上回ったとの回答は大半を占めている。「想定をはるかに上回った」28.9%、「想定をやや上回った」55.3%で、84.2%が想定以上と回答した。

「想定をやや下回った」との回答は 5.3% みられた。

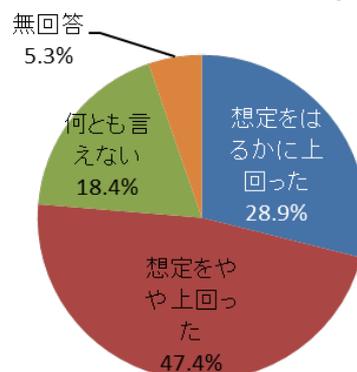


◆食事(夕食)の評価

調査モニターに応募した時点の印象と比べた実際の食事(朝食)の印象では、想定を上回ったとの回答は大半を占めている。「想定をはるかに上回った」28.9%、「想定をやや上回った」47.4%で、76.3%が想定以上と回答した。

「想定をやや下回った」「想定をはるかに下回った」との回答は見られなかった。

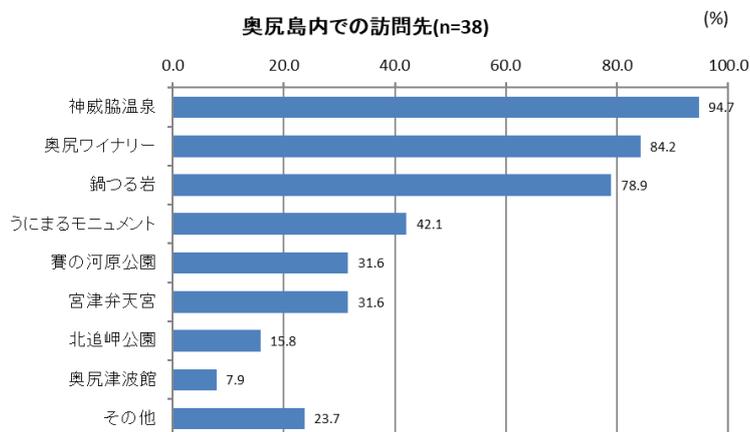
応募時の印象と比べた朝食(n=38)



◆奥尻島内の訪問先と次回行ってみたい場所や施設

奥尻島での訪問先では「神威脇温泉」「奥尻ワイナリー」「鍋つる岩」の順に多く回答された。閉館している津波館を訪問した者も7.9%みられた。

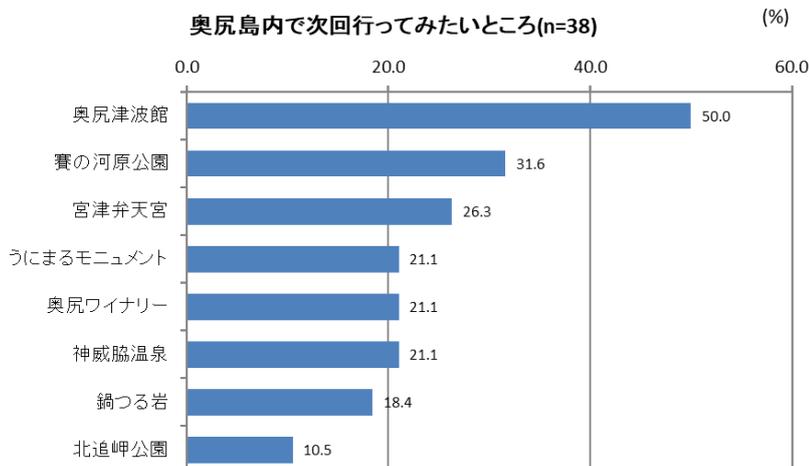
奥尻島内での訪問先(n=38)



◆奥尻島内の訪問先と次回行ってみたい場所や施設

奥尻島で次回行ってみたい訪問先では「奥尻津波館」が最も多く回答され、次いで「賽の河原公園」「宮津弁天宮」「うにまるモニュメント」などの順に回答された。

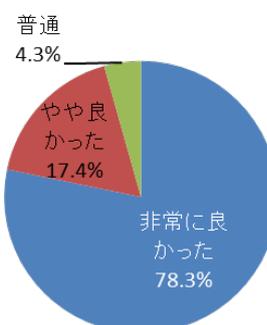
奥尻島内で次回行ってみたいところ(n=38)



◆体験プログラムの感想

体験プログラムの感想では、ほぼ全員が「良かった」と答えた。「非常に良かった」78.3%、「やや良かった」17.4%で、合計 95.7%が良かったと回答している。

体験プログラムの感想(n=23)

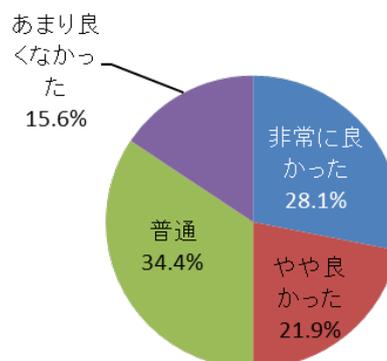


◆奥尻ワイナリーの感想

奥尻ワイナリーの感想では、約半数「良かった」と答えた。「非常に良かった」28.1%、「やや良かった」21.9%で、合計 50.0%が良かったと回答している。）

「あまり良くなかった」との回答は 15.6% みられた。

奥尻ワイナリーの感想(n=22)



◆今回のモニターに参加した感想(フェリー宿泊者)

- 修学旅行のような楽しさがありました。トイレ・洗面の利用について、カランセ奥尻の船内で済ませるには、人数が今回以上に増えると混雑が心配です(歯磨き、洗面、髭剃りなど)。
- 船内の温度は快適でした。
- フェリーの宿泊はありだと思いました。
- 有料でも参加したいほど満足いく内容でした。新しい宿泊スタイルを確立して、奥尻観光をやすくしてください。フェリーの運航時間は 8:30~が丁度良いです。
- 20 名程度ならば十分に活用できると感じた。ただこれが 50 人を超えるようであれば心配かも(防犯面や洗面所の数等)。夜間も暖房が入っており寒くはなかった(厚い服だと逆に暑いくらい。乾燥する)。
- フェリーでの船内宿泊では揺れも無く快適に過ごすことができた。
- 初めて奥尻に来ましたが、楽しかったので又夏にも来てみたいと思うことができたので、

非常に有意義な時間となりました。

- 貴重な体験ができました。
- 宿泊場所としてフェリーを利用するのは特に問題ないと感じました。ゲストハウスみたいで楽しかったです。
- 宿泊施設の都合上、冬は来にくかった印象の奥尻でしたが、今回のモニターツアーで、冬もとても魅力的な所だと知ることができました。
- 乗り物酔いするので、宿泊中の船が揺れなくて本当に良かった。
- 1泊2日だとかなりかけ足だったので、フェリーのダイヤが変わると良い。
- 2等船室スペースでプライバシーを確保するためには「つい立」よりも1~2人用の小型テントの貸与で充分確保できると思われる。
- フェリー乗り場付近に温浴施設が無い為、今回は神威脇温泉を使用したが、距離が遠い為、できれば民宿等の風呂場を借用できれば助かる。
- 観光をする場合のタイムスケジュールなどがあれば、移動時間等利用しやすくなると思う。
- 館内の説明物がなく、案内がいると良い。

◆今回のモニターに参加した感想(神威脇温泉保養所宿泊者)

- 夕食は美味しかったです。宿泊はあまり良くなかったです(周りが気になり眠れなかった)。
- レンタカーも快適でとても良かったです。宿泊施設をもう少し改善してもらえると良いと思います。奥尻を満喫できてとても楽しかったです。次回は夏に来島してみたいと思いました。
- 夕食会場から宿泊までがちょっと遠い。一部屋での人数が多すぎる気がした、少し狭い。体験プログラムはとても楽しく参加することができた。ご飯もとても美味しく、魅力を感じることができた。
- ややバタバタ感がありましたが楽しく過ごせました。ありがとうございました。

- 山小屋のようでした。一部屋に泊まる人数が多かった気がします。人をたくさん入れるなら空気清浄機がほしい。消灯時間になってから寝る準備をしたり、電気がなかなか消えなかった(照明の真下だったので特に気になった)、ちゃんとしたルールを決めて、責任者がちゃんと管理した方が良いと思いました。無料~500円くらいなら、このような状況での宿泊も有りかなと思います。
- 奥尻の色々な所に行って貴重な体験ができました。ありがとうございました。
- 知らない人と同じ空間で寝る経験がなかったので快適に眠れませんでした。この機会に家族と一緒に奥尻のグルメと自然を堪能することができて良かったです。来年、夏の奥尻にまた訪れたいです。

- 初めての奥尻で大変貴重な体験ができました。このような企画があればまた参加してみたいです。ありがとうございました。
- 島に来る目的にもよるが(観光、イベント、アウトドア、仕事)、目的が同じ人同士の宿泊なら良いと思います。また、単身での利用、家族(小さな子供連れ)、グループ等、あまり混同しすぎると互いにストレスを感じる場面(就寝中や朝起きる時間帯等)があると思いました。食事は別の場所なのもわかっているうえでの利用で良いが、宿泊場所まで遠すぎると大変(コンビニ等少ない)です。
- 今回のツアーが順延した際、最初に組んでいた予定から大幅な変更が必要となった為、宿泊場所の変更や津波館の入館不可はもっと早めに連絡いただきたかった(今回決まった内容に対してではなく、「変更」に対する連絡の仕方)。たまたま今回のツアーは冬場だったが、春から秋も含めて今回のツアーのような行程は、奥尻の道路事情(道幅が狭い)を踏まえると運転熟練者がいないと移動が厳しい。日が落ちるのが早く、路面が滑る冬はなお難しい。神威協から奥尻(フェリー)の距離があるので、移動だけで片道プラス1時間は余裕が必要。タヌキの遭遇率がなかなか高く、運転中10回くらい居合わせた(人家のない所より人家に近い場所に多くいたのが意外だった)。
- 奥尻島のイメージは夏、ウニ、海…でしたが、山や神社、色々あるのだと知りました。春に奥尻に移住した友人に会えて奥尻の事も教えてもらい、色々な観光スポットにも行けて楽しかったです。
- 食事や温泉などの魅力を感じることができ、大変有意義な時間となった。また次回もこのような機会があれば利用してみたいと感じた。
- ワイナリーはもう少し説明がほしかった。
- プライバシーや貴重品管理が気になりましたが、それらがもう少し良ければ1泊する分には問題ないのかなと感じました。連泊するのはしんどいと思いました。個人的な感想ですが、寝袋で毎日寝るのは厳しいです。奥尻島に来たのは初めてでしたが、食事や景観、温泉を楽しむことができたので、また機会があれば奥尻島に旅行したいです。
- 奥尻初体験、そして、普段体験できない場所に泊まれるってワクワクしながら行きました。行きに船酔いで少し辛かったです。家族と船室で楽しい時間を過ごすことができ良かったです(売店では酔い止めが販売されていないようです)。宿泊場所は色んな改善点がありますが、珍しい体験として記憶に残りました(大切な思い出)。夜バージョンと朝日バージョンの鍋つる岩が見られて感動しました！叶寿司は大変美味しかったです。また行きたいです！
- 良い天気ではなかったですが、非日常の体験ができてなかなか良いです。特にタヌキは道路に出てくること、都会に住んでいる人にとっては珍しい体験でした！タヌキの写真はいっぱい撮りました。食事は想定をはるかに上回りました。ご馳走さまでした！

◆今回のモニターに参加した感想(奥尻町あわび種苗育成センター)

- あわびセンターの宿泊は予想よりは快適だった。温泉まで歩いて行けるのが良い。ただ、時間の関係で1階しか行けず熱くて入れなかった。段ボールの仕切りは非常に有効だが、不安定ですぐ倒れてしまうので隣の人に迷惑をかけたかもしれない。もう少し高さがあれば簡単な着替え等しやすいと思った。
- 初めての奥尻島でとても楽しかったです。地域の方ともっとコミュニケーションが取れば尚良かった。

(4)モニターへのヒアリング調査

参加モニター31名に対し、宿泊施設ごとにヒアリング調査を行った。

1)フェリー宿泊者

Q. 今回の調査で屋内キャンプのような経験をしましたが、通常のホテル旅館にはない新たな発見や楽しさがありましたか。それはどのようなものですか。

○思ったより、快適だった。

○冬期間にフェリーで宿泊するだけのイベントとしても、有効だと思う。

Q. 今回のような施設が宿泊場所として利用しにくい点は何でしょうか。

○意外と揺れが無かった。もっと荒れると揺れるのかが気になる。

Q. 今回の宿泊場所があればよかったと思う設備や備品はなんですか。

○朝の身支度にあたって、場所が足りない。

○パウダールームが2箇所しか無いので、着替えなどの場所が少ない。

○音が気になる→耳栓みたいな物があれば、良かった。

○備品では、テーブルやスリッパが不足している。

○夜食を食べる時のお湯などがあると嬉しかった。

○コンセントが遠かったなので、延長コード等があるとありがたい。

Q. プライバシー確保の面で、気になることはありましたか。どの程度気になりましたか。

○雑魚寝の経験があるので、プライバシーはまったく気にならない。

Q. 今回の宿泊場所を実際にイベントなどで利用するとなった場合に必要となる条件は何でしょうか。

○地元民との交流もあると良いのでは。

○災害時に使うような簡易ベッド。

Q. その他、今回の調査モニターに参加してのご感想や奥尻島に関するご感想をお聞かせ下さい。

○食事等のキャパシティも同時にはかって欲しい

2)神威脇温泉保養所宿泊者

Q.今回の調査で屋内キャンプのような経験をしましたが、通常のホテル旅館にはない新たな発見や楽しさがありましたか。それはどのようなものですか。

- 他の人と話ができたのが良かった。ロビーで一緒に酒を飲んでる人もいたが、とても良い。イベントなど、同じ目的で集まったメンバーだったら、もっと盛り上がると思う。
- 普通の宿泊とは異なり、特別な感じがする。
- キャンプや山小屋に泊まるという感覚であれば、まったくOKである。
- 自分の寝袋などを自分たちで準備したり、後片付けしたりするのも全く問題はない。
- 預けるところがあるなら、自分の寝袋を持ち込むのもOKである。
- 全体として楽しかった。

Q.今回のような施設が宿泊場所として利用しにくい点は何でしょうか。

<雑魚寝の睡眠について>

- 睡眠満足度としては、いつもの2~3割の睡眠、いつもの7割程度の睡眠度合い
- 消灯時間をあと1時間遅くしてもらえると良い(22:00→23:00)
- 扉の近くだった為(扉の立て付けが悪く)扉の開閉の音が気になって眠れなかった
- 非常照明灯の灯が眩しくて眠れなかった
- 間取りのしかたに工夫が必要。出入口に近い人は嫌だったかもしれない。そこを通る人も気を使ってしまう。通路(出入口)が1個しかなかったがもう一つあると良い。
- マットがあって多少良かったがそれでも床が固い感じがした。もう少し柔らかくても良かった。→座布団などを併用して個人個人で対応してもらおう方法もあり
- エアピーローを使って寝た6名:小さいけどあって良かった。
- 枕を使わなかった人:空気の注入が硬くて面倒臭かった。マットの先を丸めて枕がわりにした。服などの荷物を枕がわりにした。
- 入浴時間の終わりが早すぎた。午前1時くらいまで入れると良い。

<施設設備について>

- Wi-Fiがほしかった。
- コンセントが足りなかった、周りの人たちと相談して使った。
- Wi-Fi なかったが、なくても泊まることには支障はない。

Q.今回の宿泊場所があればよかったと思う設備や備品はなんですか。

- 寝袋が暑すぎた。暖房があったので、寝袋は夏用が良い。
- 耳栓
- ウォーターサーバー
- 貴重品入れ
- 空気枕や安眠ドームも新品だったので、ビニル臭いため使わなかった。

- 雨漏りのところから、冷たい風が来た。
- 別部屋があれば談笑もできた。
- 鍵のかかる貴重品入れがあれば良い。(パーティションの隙間があったので、貴重品などは隙間から手が届く様などころには置かない様に工夫した)
- 飲料や小物などを置くテーブル、台があれば良かった。

Q. プライバシー確保の面で、気になることはありましたか。どの程度気になりましたか。

- もっと背の高い仕切り板が必要。
- 着替えは2階の脱衣場でできたので問題なかった。
- 廊下側の人のプライバシーが気になった。
- ダンボールが倒れやすい。
- 座った目の高さで隣の人と目が合わない高さの仕切りが必要。
- 4人(K-5)にしては1グループの面積が狭かった。4人ともなると荷物が多いので、荷物を置く場所のスペース確保が必要。
- 安眠ドームはあってもなくても同じ。
- 音対策でドームを使用したけどドームでいびきの音を遮断することは出来なかった。

Q. 今回の宿泊場所を実際にイベントなどで利用するとなった場合に必要となる条件は何でしょうか。

- 時間帯。奥尻は夜空がきれいなので、遅い時間に外出できるとよい。
- 大広間などを共同で使うので、集団生活のため門限や消灯時間を決めるのはやむを得ない。
- 女性用の簡易更衣室(簡易テント等で工夫)があると嬉しい。今回は、脱衣所を利用したり家族にジャンパーなどで隠してもらって対応した。
- 温泉がよいので、あとはプライバシーを守ることでできる寝床があると良い。
- ダンボールを組んで棚(ハートランドフェリーの部屋を仕切っている棚の様に)をつくるなどで仕切れるとベター

Q. その他、今回の調査モニターに参加してのご感想や奥尻島に関するご感想をお聞かせ下さい。

- イベントなどでは、レンタカーではなくバス移動の方が便利。移動の仕方に工夫が必要。
- このようなモニターに参加したのは初めてだったが、不便なことはなく、快適であった。
- 人により、いろいろ感じるところが違う。二泊して、フェリーと両方体験したかった。
- このような実験に興味があり、体験してみたかった。
- イベント以外の楽しみ方を共有すれば、お互い楽しさが増す。

- 短時間であったが、離島の特別感、特殊な環境を楽しめた。
- 自由に行動できたのが良かった。
- もっと寒いと思っていたが、室内は快適だった。
- 食事も想定以上であった。
- たぬきがたくさんいる
- 奥尻外周を一周回った。綺麗だった。
- カフェのパンケーキを食べに行った。美味しかった。
- ワインアイスが美味しかった。
- 夜のお寿司も、朝のお弁当も美味しかった。

3)奥尻町あわび種苗育成センター宿泊者

Q.今回の調査で屋内キャンプのような経験をしましたが、通常のホテル旅館にはない新たな発見や楽しさがありましたか。それはどのようなものですか。

- 価格が安いのであれば今回のような施設に泊まるのも良い。
- 奥尻には温泉旅館がないので、温泉まで徒歩1分はベストであった。
- 通常のホテルにはない非日常が逆に楽しめた。

Q.今回のような施設が宿泊場所として利用しにくい点は何でしょうか。

- 今回は男性だけだったから気にならなかったが、着替えの場所は困ると思う。
- 朝身支度するのにドライヤーやアメニティがないので特に女性は困るかもしれない。

Q.今回の宿泊場所であればよかったと思う設備や備品はなんですか。

- ドライヤーやアメニティ。
- それほど気にならなかった。

Q.プライバシー確保の面で、気になることはありましたか。どの程度気になりましたか。

- 通常のホテルに比べれば不十分であるが、段ボールの間仕切りがあるだけでも随分違う。
- 段ボールが倒れにくいものが良い。
- 寝る分にはあまり気にはならなかった。
- しいて言えばもう少し高いつい立があると着替えもできるから良い。

Q.今回の宿泊場所を実際にイベントなどで利用するとなった場合に必要となる条件は何でしょうか。

- 出入りの時間の自由度がほしい。
- お金を払って泊まるのであれば、事前に選べる施設情報がほしい。

- ドライバーがないという情報だけでもありがたい。
- 着替える場所は必要。更衣室などがあると良い。
- 寝泊まりする部屋に日常使用している荷物があるので、宿泊客に関係のないものは撤去してほしい。
- 8畳間だと3人が限度。
- 荷物を置く場所や貴重品を預ける場所が必要。

Q.その他、今回の調査モニターに参加してのご感想や奥尻島に関するご感想をお聞かせ下さい。

- 予定表では窮屈な日程に見えたが、思ったより滞在時間があり、体験の時間に地元の人から津波の話が聞けたのは良かった。
- フェリーが朝早い出発だったので、朝陽が昇るシーンがみられたのは良かった。
- グループで初めて奥尻島に来たが、半日くらいあれば観光名所は回れるが、日没の関係で暗くなったのでもう少し明るい時間に来たかった。
- 夏のアクティビティの体験もできればもっと満喫できた。
- 体験プログラムで地元の方とコミュニケーションが取れたのが良かった。地元の住民の方と触れ合う機会をもっと提供していただけると良かった。
- イベントで集まる場合には、宿泊場所にコミュニティスペースのようなものがあり、それに加えて寝られない方の避難場所があると良い。
- マラソンの場合を考えると記録重視で参加する方もいるので、睡眠が重要になる。雑魚寝の場合には気になる方もいるのでアイマスクや耳栓、安眠ドームなどのグッズの提供や、グッズの持参についての案内があると良い。

(5)関係者へのヒアリング調査

関係者 13 事業者に対し、実証調査後のヒアリング調査を行った。

1)宿泊施設提供者

(ア)ハートランドフェリー

Q.今回の、モニター調査実施にあたり、課題となった点

- ・提供時間帯は特に問題ない。もっと遅く 24 時消灯でも問題ない。
- ・定員数は今回が限度。もっと増やすとうるさくなる。
- ・利用者のマナーやルールは守っていただいていた。良かった。
- ・備品関係について江差で毛布を調達し、船に積み込むことも可能。

Q.上記の課題を解決するために可能と考えられる工夫や改善点

- ・提供時期について、もっと早い時期であればモニターの満足度も高くなったと思う。
- ・備品関係について、朝の洗面は2階の 1 等船室の洗面所を使うことも可能だが、できるだけ 1 フロアにしたい。

Q.上記の工夫・改善をした場合、受入可能な最大人数

- ・今回の人数が限界。1 等指定席はリクライニングシートだが、長時間寝るには不適切。
- ・1 等指定席は 50 人くらいのキャパである。

Q.最大人数の宿泊受入に際し、必要となるコスト

- ・今回人件費、燃料費で 30 万円弱かかっている。

Q.今回の宿泊利用調査全体についての感想

- ・モニターに対し調査主旨の徹底が必要。
- ・観光客誘致について協力する

(イ)奥尻町産業振興課

①神威脇温泉保養所

Q.今回の、モニター調査実施にあたり、課題となった点

- ・定員数に関しては、人数が多すぎて狭かった。町の担当者は隣の部屋で寝た。
- ・備品関係について、漏電の危険があり入り口の電気を止めているため暗かった。
- ・事前調整・打合せについて、ドライバーを持ち込んだ参加者がいたが、電力の関係で使用できない。事前のインフォメーションが必要であった。
- ・当日のオペレーションについて、パーティションの用意は手間がかかりすぎ。

Q.上記の課題を解決するために可能と考えられる工夫や改善点

- ・提供時間帯については、一般利用者との時間の重複があったので、調整が必要。
22 時まで出入り可能にしていたが、実際にそのように対応可能かどうかはわからない。
- ・提供方法について、イベント民泊となれば、温泉側で検討できるのではないか。

- ・備品関係については、Wi-Fi の希望があった。
 - ・当日のオペレーションについて、テントがあれば良い。
- Q.上記の工夫・改善をした場合、受入可能な最大人数
- ・最大 21 名が限度。
- Q.最大人数の宿泊受入に際し、必要となるコスト
- ・通常 20:30 で就業時間を終え、帰宅している。宿直の人件費と光熱費が必要となる。
- Q.奥尻島における一時的な宿泊施設や飲食施設、交通手段の利用の方向性について
- ・青苗中学校と公民館が当初候補に挙がっていたが、75 m²以上の施設には宿泊させられない。
 - ・今回無償で提供したが、土産など消費額でプラスになっていると評価している。
 - ・宿泊施設があれば、島にお金がおちる。
 - ・町営のバスの本数、運行時間の告知が課題。時刻表を明示する必要がある。
 - ・レンタル自転車(イマココ、奥尻レンタカー)、レンタルバイク(島じかに 10 台)
 - ・キャンプ場はかなり余裕がある。
- Q.今回の宿泊利用調査全体についての感想
- ・イベント民泊でどれくらいの町民が手を挙げてくれるか、やってみないとわからない。

②奥尻町あわび種苗育成センター

- Q.今回の、モニター調査実施にあたり、課題となった点
- ・提供時間帯 門限 22 時は遅い。
 - ・定員数は 3 名が限度のため効率が悪い。
 - ・備品関係については、ストーブがあるので寒くはない。
- Q.今回の宿泊利用調査全体についての感想
- ・宿泊調査利用という点で、あわび種苗育成センターは狭すぎた。

2)レンタカー事業者

(ア)うにまるレンタカー

- Q.今回の、モニター調査実施にあたり、課題となった点
- ・提供時間帯について、特に問題ないが、通常土日休業である。
 - ・提供方法について、日曜日返却の場合は、土曜日中に満タンにしてもらうか、走行距離を概算で算出して事前に精算しておく。
 - ・当日のオペレーション等 レンタカーのチケットについて事前に連絡が欲しかった。
- Q.上記の課題を解決するために可能と考えられる工夫や改善点
- ・定員数について、レンタカーは夏 5 台、冬 3 台である。

・備品関係について、ナビ付のレンタカーが1台しかない。利用者はほとんどGoogleマップを利用するので、今後携帯ホルダーを車に装備する予定。

Q.奥尻島における一時的な宿泊施設や飲食施設、交通手段の利用の方向性

・交通手段としてはレンタカー台数が足りなくなるので、バスの持ち込みが必要ではないか。マラソンの時はバスを5台島外から持ち込んだ。

Q.今回の宿泊利用調査全体についての感想

・フェリーでの宿泊は現実的ではないのではないかと。
・温泉での宿泊は可能と考える。

Q.その他

・マラソンの時は青苗中学校で40名宿泊(休憩扱い)。車中泊の人もいた。
・現在青苗支所が避難所になっている。毛布、マット、まくらなどの避難セットが40名分くらいあり、町民センターで保管しているはず。函館ラ・サール高校が寄贈したものである。
・地区の自治会館は40畳くらいの部屋があり、通常集会や葬儀で使用される。

(イ)奥尻かもめレンタカー

Q.今回の、モニター調査実施にあたり、課題となった点

・提供時間帯については特に問題ない。返却についても問題ない。
・現在、軽四輪5台とワゴンが2台。
・フェリーが2便の時は、3時間の日帰り利用が増え、レンタカーが不足する。
・当日のオペレーションに課題はない。レンタカーのチケットは良い。

Q.上記の課題を解決するために可能と考えられる工夫や改善点

・定員数に関しては、資金があればもっとレンタカーを増やせるが、整備士がないので9台が限度。
・当日のオペレーションに関しては、飛行機利用とフェリー利用のお客様がかぶるときは、空港からタクシーを利用してお客を運んでいる。

Q.奥尻島における一時的な宿泊施設や飲食施設、交通手段の利用の方向性

・レンタカーが足りない場合、自転車やスクーターなどのレンタル利用促進も考えられる。
・自転車は青苗ハイヤーが4台持っている。imacocoでも自転車を借りられる。スクーターは島じかんで借りられる。

Q.その他

・廃業した民宿ふる里館を自宅に使っている。フェリーに泊まる場合の入浴施設として使うことは可能。浴室は二つある。

(ウ)奥尻レンタカー

- Q.今回の、モニター調査実施にあたり、課題となった点
- ・朝、返却時間に少し遅れて来た人もいたが、大きな問題はない。
 - ・モニターに渡したチケットがなくても、名前で確認できる。
- Q.上記の課題を解決するために可能と考えられる工夫や改善点
- ・貸出台数は9台まで可能(軽四輪6台。ワゴン3台)。
- Q.上記の工夫・改善をした場合、受入可能な最大人数
- ・整備士がいるので、台数を10台以上には可能であるが、閑散期が長いので経営効率が下がる。今後カーシェアリングが拡大すれば競争が増えることになり、投資しにくい環境である。
- Q.奥尻島における一時的な宿泊施設や飲食施設、交通手段の利用の方向性
- ・神威脇温泉に泊まったモニターからは、周りにお店がないという不満も聞かれた。
 - ・交通面ではバスの本数が少ないことと、タクシーがないことが非常に不便。ゼロカーボンの取組で時速20kmで走る8人乗りの車両があったが、普及すると変わる。
 - ・飲食店の少なさも課題。夏にうに丼を食べに奥尻に来て、食べられずに帰る人もいた。(うに丼は、さくらばな、佐藤食材、叶寿司、まつやの4か所で提供)
 - ・フェリーが2便になると日帰りで来る人も増えるが、昼食場所に困るようである。
 - ・自社では、レンタカー利用者にキャンプ用品の無料貸し出しをしている。(テントは1人用、2人用、4人用。バーベキューコンロ、椅子、エアマット、ランタンのセット)
- Q.今回の宿泊利用調査全体についての感想
- ・宿泊場所が不足する場合に備えて実験をするという試みは素晴らしい。
 - ・時期が12月だったのは少し残念。もっと良い季節に実施すれば奥尻の魅力をさらに味わってもらえたと思う。

3)食事提供事業者

(ア)叶寿司

- Q.今回の、モニター調査実施にあたり、課題となった点
- ・提供時間帯に関しては、朝食は朝起きが大変だった。
 - ・提供方法については特に問題なし。朝食は弁当の方が楽に提供できる。
- Q.上記の課題を解決するために可能と考えられる工夫や改善点
- ・提供方法は、極力セルフにして、その分他ではできないサービスを提供する方向が良い。
- Q.上記の工夫・改善をした場合、受入可能な最大人数
- ・弁当であれば150~200食くらいは可能である。
 - ・夕食は1階40名、2階16名、カウンター10名で最大66名まで可能。
- Q.今回の宿泊利用調査全体についての感想

・マラソンなどイベントの時の受入としては可能であるとする。

(イ)まつや

Q. 今回の、モニター調査実施にあたり、課題となった点

- ・提供時間帯は特に問題ない。6:00～8:00 までの時間帯での配達が可能。
- ・提供方法について、弁当のカラーは発注者側で処分してもらいたい。
- ・定員数は最大 50 食までは提供可能。夕食は 15 人くらい店内で食事可能。

Q. 上記の課題を解決するために可能と考えられる工夫や改善点

- ・提供方法は、弁当とみそ汁であれば店内で可能。

Q. 奥尻島における一時的な宿泊施設や飲食施設、交通手段の利用の方向性

- ・奥尻島内の施設で利用できる場所は活用した方がよい。
- ・キャンプに来ていた女性を自宅に泊めたことはある。
- ・島に泊まる機会を増やす。

Q. 今回の宿泊利用調査全体についての感想

- ・町民センターなどを活用できないか
- ・工夫して宿泊場所を確保した方がよい。
- ・現在空き家がある。6 畳 3 室 + 茶の間 8 畳間は提供可能。

4) 体験コンテンツ提供事業者

(ア) 離島仙人

Q. 今回の、モニター調査実施にあたり、課題となった点

- ・提供時間帯は 17:15～18:15 で実施したが、特に問題ない。
- ・提供方法については、1 時間では満足度が低くなる。最低 1 時間半から 2 時間は必要。10 人中 5 人が作品を磨く時間が取れず、離島仙人の方で磨いて翌朝届けた。
- ・定員数は 10 人が限度である。
- ・当日のオペレーション等の問題としては、一人 2,000 円では提供できない。2,500 円にしてもらいたい。来年以降消費税を含め 2,750 円とする予定である。

Q. 上記の課題を解決するために可能と考えられる工夫や改善点

- ・提供時間帯について、夕食を 18:30～19:30 にして、食事の後のプログラムが良いのではないかと。
- ・提供方法では、アシスタントがいれば、時間は短縮できる。プログラム開始前に 80% ほど完成させておき、そこから参加者に作ってもらう方法もある。

Q. 上記の工夫・改善をした場合、受入可能な最大人数

- ・10 人が限度である。
- ・夏であれば SUP と二手に分けて、10 人ずつ交互にやる方法もある。

Q.奥尻島における一時的な宿泊施設や飲食施設、交通手段の利用の方向性

- ・交通アクセスがネック。キャンプ場も立派なものがあるが、交通便が良くない。
- ・フェリーの到着時刻に、フェリー乗り場から出発するバスがない。
- ・空港の飛行機到着時刻にバスがない。町営バスを入れるべき。
- ・フェリーの乗降が活用されていない。
- ・タクシー会社も1社しかない。
- ・バスのフリー乗降の時間場所をPRするとよい。
- ・観光シーズンに、バスを1台増やしてはどうか。
- ・5月から10月までの交通手段を充実させる必要がある。

(イ)Gift Pocket

Q.今回の、モニター調査実施にあたり、課題となった点

- ・提供時間について、60分では難しい。2時間は必要。
- ・提供方法は今回11名中8名がボールペンだったのですぐに完成した。残りの3名は固める作業が必要だったので提供者側で作業をして、翌朝届けた。
- ・定員数は最大18名まで可能。アシスタントがいるのでできる。自分ひとりだと12名が限度。

Q.上記の課題を解決するために可能と考えられる工夫や改善点

- ・提供方法は、子供向けと大人向けのトークを準備しておく。「海洋ごみ」というネーミングが良くないという指摘もあるので、変えようと思う。
- ・定員数は、現在の受入は年間50人くらい。
- ・備品関係について、冬はかなり寒い。冬のニーズが多いのであれば、暖房設備を考える必要がある。

Q.上記の工夫・改善をした場合、受入可能な最大人数

- ・最大18名まで可能。

Q.奥尻島における一時的な宿泊施設や飲食施設、交通手段の利用の方向性

- ・大学生が体験に来て、泊まる場所がないというので、自宅に泊めた経験がある。
- ・町内には空き家が沢山ある。
- ・奥尻の民家には、葬式などの時に親戚が多く泊まるので、布団など寝具は沢山持っている。

Q.今回の宿泊利用調査全体についての感想

- ・広間で雑魚寝でよいのではないか。
- ・宿泊場所が確保できると良い。
- ・現在団体客を受け入れられない状況である。二つの工事が重なり、宿は満杯である。
- ・今回実験できたのは良かった。
- ・民泊についても推進してほしい。

- ・海外の人が来たら泊めても良い。
- ・ウニ漁のシーズンは人手が不足する。修学旅行などとセットでウニ漁の手伝いができないか。ウニ漁は7月中旬から8月末までの期間である。6:00~12:00までの就労で、あとは海で遊べる。

5)観光施設

(ア)奥尻ワイナリー

Q.今回の、モニター調査実施にあたり、課題となった点

- ・提供時間帯は、2回実施したが、特に問題ない。
- ・提供方法について、実施日が1週間延期になったことで、当日の人員体制を十分整えることができなかった。当初の予定では案内担当がいたが、実施日では対応できなかった。
- ・オペレーションに関して、奥尻ワイナリーで何ができるかについて、徹底不足だったのではないか。1回目と2回目の来場者でいうことが違っていった。担当がいなかったので、工場見学は難しいと伝えていたが、そのあたりの情報が徹底されていなかった。事前の打ち合わせをしっかりとった方がよい。グループに引率者がいるのかどうかも不明であった。団体として動くのか、各自フリーで動くのかを徹底した方がよい。
- ・マネージャーが不在だったので、対応がうまくできなかった。

Q.奥尻島における一時的な宿泊施設や飲食施設、交通手段の利用の方向性

- ・移動手段が課題。移動に制限が多すぎる。
- ・宿泊を改善しても飲食店、交通手段と連鎖していく。全体で改善することが必要。
- ・フェリーのダイヤや本数が問題視されるが、フェリーのダイヤよりも奥尻島の受入キャパの問題かと思う。利用率が増えないと本数も増えていかない。まずは、利用率向上のために島の受入キャパを増やすべきである。
- ・観光に来る方の需要を満たして上げる全体の底上げが必要である。
- ・飲食店も足りない。宿泊キャパが小さくなっている現状でも、食べる場所に困る観光客がいる。
- ・宿泊だけの課題ではない。飲食店の少なさも問題。後継者の育成が必要。
- ・観光客にあっ旋できる食事場所に困ることが多い。
- ・居酒屋以外の普通の食堂が少ない。
- ・飲食は箱と設備以外に人材(料理人)も必要である。
- ・ワイナリーでも飲食をやってみたいと考えることはあるが、人材がいらない。

(イ)神威脇温泉

Q.今回の、モニター調査実施にあたり、課題となった点

- ・提供時間帯に関して 15:00 くらいから入浴に来ていた。早い時間は女性や家族連れが多かった。フェリー泊の方々 17:00 くらいが多い。
- ・定員数について、モニターの入浴時間が重なり浴室びっしりだった。
- ・当日のオペレーションについて、一般のお客様との競合(広間)があった。周知不足だった。20:30 以降は 2 階の風呂は使えないのだが、女性が風呂に入っていて男性の清掃担当者が入っていき、21:30 から掃除を開始せざるを得なかった。
- ・ロビートイレの前の洗面所も使っていた。
- ・外でたばこを吸っていたが、携帯灰皿を持っていたかどうか未確認である。

Q.上記の課題を解決するために可能と考えられる工夫や改善点

- ・利用者のマナーやルールに関して、館内は禁酒にした方がよかったのではないかな。
- ・事前の連絡が重要。事業主旨がよく理解できていなかった。
- ・当日のオペレーションに関して、事故、怪我の時の対応を事前に打合せしておく必要がある。

Q.最大人数の宿泊受入に際し、必要となるコスト

- ・14:00~7:00 の利用として、2,500 円×17h=42,500 円
- ・その他消耗品、光熱費、清掃費

Q.奥尻島における一時的な宿泊施設や飲食施設、交通手段の利用の方向性

- ・今回はモニター調査だったからよかったが、お金をもらって泊めるとなると、お客の制御が効かなくなる可能性がある(飲酒など)。
- ・一時的な利用という点は、宿泊事業者も理解してくれると思う。
- ・民宿が空いているなら民宿に泊まると良い。

Q.その他

- ・キャンプ場としては、うにまる公園、東風泊(やませどまり)、賽の河原公園、北追岬
- ・神威脇温泉保養所の前の港にはキャンピングカーで泊まる人も多い。

6)土産店

(ア)辻売店

Q.今回の、モニター調査実施にあたり、課題となった点

- ・提供時間帯に関して6:00~17:00 まで営業している。その範囲なら可能。
- ・提供方法について、冬場はアイテム数を減らしているので選べるアイテムが少なかった。

Q.上記の課題を解決するために可能と考えられる工夫や改善点

- ・提供方法に関しては、高額なものを減らし、種類を増やした方がよかったのではないかな。

Q.奥尻島における一時的な宿泊施設や飲食施設、交通手段の利用の方向性

- ・一時的に使える宿泊場所を確保する考え方は OK である。

- ・神威脇温泉保養所は良い。
- ・フェリーは珍しいので泊まる側は良いが、お酒を飲んだりすることもあるので、危険ではないか。船員さんも大変そうである。宿泊場所としての設備が整っていない。冬は波で揺れる。
- ・風呂やラウンジも欲しい。朝 7:00 の下船は宿泊者に負荷がかかる。
- ・このような形で島に来て楽しかったのかどうか疑問。
- ・段ボールと寝袋では設備として問題。テントがあれば良いのではないか。

Q. 今回の宿泊利用調査全体についての感想

- ・民泊の提供希望者はいる。
- ・空き家も沢山ある。現在は工事の会社が借りている。
- ・バンガローの利用や学校のグラウンドでキャンプやグランピングも良いのではないか。

(6) モニター及び関係者ヒアリングによる課題の整理

宿泊利用調査(アンケート調査、ヒアリング調査)及び関係者のヒアリング調査から抽出された課題については、以下のように整理される。

1) 課題の抽出

(ア) フェリー宿泊における課題

① 参加者から提示された課題

◆睡眠場所としての問題点

- 隣で寝てる方が全く知らない人だと少し心配
- 天気が悪い時は波の音や揺れがどうなるのか気になる
- 洗面所の数。着替えの場所が少ない
- 段ボールでのつい立はすぐに倒れてしまう、しっかりとした「つい立」がほしい
- 枕が高い
- 枕の衛生面
- 部屋が暑かったが寝袋があるので少し寒くて良い
- 枕元に電源があると良い
- スリッパ・アメニティ(販売)があると良い
- 周りの人の音が気になる

◆プライバシー確保の問題点

- プライバシーへの配慮や隣との距離が気になる
- テントのような個別空間があると良い
- 家族で参加することを考えると、もっとプライベート空間が必要
- ある程度のプライバシーを確保するため、50～70 cm程度の高さのつい立がほしい

- 段ボールのつい立では回りが気になる
- 段ボールつい立がすぐ倒れる
- 音のがすごく気になった
- 自由席ワンルームは多くて10名が限界かと思われる
- プライバシーを気にする人は、そもそも難しいと感じる

◆防犯面での改善点

- 荷物を預けられる場所や貴重品用の小型ロッカー
- レディースルームも完全に安心ではないので、鍵付きの個室の開放もしくはテントのレンタルができるが良い
- 夜真っ暗だったので、トイレに行く時少し不安
- 通路と部屋の間にもカーテンがほしい

②フェリー関係者から提示された課題

- 実際に運用するには、1泊につき人件費、燃料費で30万円弱の費用が発生する。
- 2階の1等船室の洗面所を使うことも可能だが、できるだけ1フロアにしたい。
- 定員数は今回の人数が限度。もっと増やすとうるさくなる。
- 1等指定席はリクライニングシートだが、長時間寝るには不適切。

(イ)神威脇温泉保養所・奥尻町あわび種苗育成センター

①参加者から提示された課題

◆睡眠場所としての問題点

- いびきの音が気になる
- 隣との距離が近すぎる
- 非常口の照明が明るすぎる
- 雨漏りの関係で蛍光灯が半分くらいしか使えず暗かった。
- 他のグループとの就寝時間や起床時間の違いで音が気になる
- ドライヤーの数が少ない
- コンセントの場所が遠い
- Wi-Fiがない
- 市街地まで遠い
- 空気まわりの空気が入りにくい
- 遅い時間まで入浴できると良い
- 寝袋とマットだと床が硬くて体が痛い
- 耳栓を用意してほしい

◆プライバシー確保の問題点

- 段ボールが低すぎる
- 段ボールが倒れやすい
- 高いパーティションで仕切ってほしい
- 通路が一方方向だったため気を遣う

◆防犯面での改善点

- 貴重品ロッカーがほしい
- 施錠が十分に行われていなかった
- 女性だけのグループは部屋を別にしてほしい

②施設運営関係者から提示された課題

- 宿泊スペースは狭かった
- 漏電の危険性回避のため入り口の電気を止めていたため暗かった
- パーティションを6枚用意したが、運搬や設営に手間がかかりすぎる
- 一般利用者と時間がバッティングしないように調整する必要がある
- テント持ち込みは有効
- 神威脇温泉保養所の収容人数は最大21人が限度
- 通常 20:30 までの就業時間のため、宿泊利用する場合は人件費、光熱費が必要
(14:00～7:00 までの勤務時間として、人件費だけで 2,500 円×17h=42,500 円)
- 青苗中学校の公民館が候補となっていたが、消防法の関係上 175 m²以上の施設には
宿泊させられない

③その他

- キャンプ場はかなり余裕がある
- 町営バスの運行時間の周知が必要
- レンタル自転車、レンタルバイクの利用促進も必要
- イベント民泊への町民参加の可能性を探ることも必要

(7)意見交換会

1)議事録

業務	フェリー等を一時的な宿泊施設として活用するための実証調査(奥尻)意見交換会
日時	令和6年2月2日(金)14:30~15:30
場所	奥尻町海洋研修センター
出席者	ハートランドフェリー(株) 取締役業務本部長:浦田 耕造(リモート参加) 奥尻町産業振興課課長:横田 稔 奥尻町産業振興課係長:池田 勇一 奥尻島観光協会代表理事:松川 武彦 奥尻商工会会長:明上 雅孝 叶寿司オーナー:井田 善直 Gift Poket オーナー:高橋 幸子 離島仙人オーナー:枝松 寛次 奥尻レンタカーオーナー:逸見 美知代 北海道運輸局海事振興部次長:矢島 修 北海道運輸局函館運輸支局支局長:村上 浩之(オンライン) 株式会社 TAISHI 代表取締役:菅野 剛 株式会社 TAISHI ディレクター:嶋田 健一 リ・マスター合同会社 CEO:篠崎 宏 リ・マスター合同会社シニアパートナー:金沢 英明
資料	意見交換会発表資料

1. 開会

2. 主催者挨拶

(北海道運輸局海事振興部/矢島次長)

- ・本日はお忙しい中ご参加いただきお礼申し上げます。また日頃より運輸行政にご理解、ご支援をいただき重ねてお礼申し上げます。昨年12月に実施された宿泊施設を活用するための実証実験において、奥尻町、ハートランドフェリーをはじめ、本日も集まりの皆様のご協力により、無事終了できたことに感謝申し上げます。私も実際に宿泊してみたが、プライバシーの面で少し気になるところはあったが、実際には TENT を張ったため個人的には全く気にならなかった。宿泊場所としては可能だと感じた。本日は先ほどお話があった株式会社 TAISHI 様より、モニターツアーの中間報告ということで、ツアー後のヒアリング、アンケート調査を参考に、宿泊利用調査、抽出された課題について、実現可能な解決方法を検討するために皆様と意見交換をして、運営を含めて今後の方向性を取りまとめるため、活発な議論をしていただきたいと考えている。よろしく願いたい。

3. 中間報告(骨子)

(リ・マスター合同会社/金沢)

・資料にもとづいて説明。

4. モニター調査についての所感

(ハートランドフェリー株式会社/浦田業務本部長)

・先ほどお話があった通り、提案されて当日を迎えた。実際には泊まれる人数はもっと多いが、18名ということで、初めてということもあり準備ができずにいた。表示する場所もなく、布団もなく、寝袋があっても数が少なく、寝心地は良くなかったのではないかと。こういったものを持ち込んで宿泊に耐えることをしていただいたのかはわからない。暖房はあるため火を使うことはなかった。一番の問題は水で、ご不便をお掛けした。トイレの水は飲料用ではなく、洗面台も男性用と女性用で3台しかない。朝は上の一等を使っていたとしても良かった。どんなことで不便があったのかは聞いていないが、今後どう進めていくかを考えるためにそれをお聞きしたい。今回は提供させていただいたという程度のコメントしかできない。課題、成果をお知らせいただきたい。

(リ・マスター合同会社/金沢)

・水回りでは、洗面所が足りなかった。特に女性からそういった声をいただいた。

(奥尻町産業振興課/横田課長)

・役場の公共施設を使つての実証実験だった。そもそも宿泊が想定されていないため、どうすれば可能かということの課題、問題点があぶり出されたのではないかと。例えば消防関係では、10年前までは言葉だけで良かったが、最近は避難路の確保、階段の幅等許可を出されるまでが大変だった。公共施設の選定でもマラソンで使ったところを候補に挙げたが、現在は許可が下りず、温泉とあわび種苗センターが選ばれた。こちらは毎年消防の検査もしっかり行われているため、単発的な試験事業ということで許可が下りた。他の施設で宿泊する場合、設備を根本的に変える必要がある。自動警報機、耐火設備等が必要となる。広いところは防火シャッター等煙を遮る設備も必要となる。その改修を経て宿泊が可能となるというアドバイスを受けた。公共施設は75㎡を越えると、宿泊施設の扱いでの消防の対応となるということが分かった。現時点では公共施設の改修にお金をかけるよりは、住民にご協力いただき、イベント民泊を実施してはどうかと考えている。

5. 意見交換

(株式会社 TAISHI/嶋田)

・実証調査参加事業者からみた一時的宿泊所への期待ということで、算出したキャパシティは精査が必要だが、地元として観光で潤う事業者もいらっしゃる。この事業を契機に一時的宿泊所の体制を整えることに期待するかどうか。レンタカーはどうか。

(奥尻レンタカー/逸見)

・ビジネス客が多い。公共工事で来る方、出張で来る方もいるが、観光客よりも多い。いつもは 7:3 で工事関係者よりも出張が多い。GW と夏場は観光客も多いが、宿泊施設の問題がある。

(株式会社 TAISHI/嶋田)

・売り上げにつながるという実感はあったか。

(奥尻レンタカー/逸見)

・こういった実験が毎年あればありがたい。季節的なものも関係がある。忙しい時期はレンタカーも込み合うため、台数が少なくなる可能性がある。観光が落ち着いた 9 月が良いのではないか。

(離島仙人/枝松)

・体験観光をしている。島で採れる深海サンゴを使って通年観光客を相手に実施している。今回は時間があれば体験してもらおうということで始まった。体験していただいたが時間が短かった。希望としては 1 泊 2 日ではなく 2 泊 3 日の事業にならないか。せっかく奥尻島に来て宿泊するのであれば、今回のイベントでは時間が足りなかった。体験事業者は数か所ある。その体験もできない。とにかく時間が少なかった。今回は 1 時間半の体験を 1 時間で行ったため、お客様も満足いただけなかったのではないか。

(株式会社 TAISHI/嶋田)

・アンケートでは満足度が高かった。

(株式会社 TAISHI/菅野)

・そばで見ていたが、楽しそうにしていた。

(離島仙人/枝松)

・時間があればもっと楽しかったはずだ。

(奥尻レンタカー/逸見)

・夏場のフェリーの時間であれば楽しめた。

(株式会社 TAISHI/菅野)

・東京等を含め幅広く募集すると長期で可能となる。イベントの際に宿泊キャパシティが不足するため、そのバックアップを想定している。イベントで島の人と触れ合うと愛着が高まる。帰った後もお土産を買う等継続的な繋がりとなる。そうすれば人口が減っても持続的な循環を作れるのではないか。これを基に 2 泊 3 日でも将来的に実施したい。

(リ・マスター合同会社/篠崎)

・本来なかった宿泊の実証実験だった。将来的にはイベント民泊の選択肢もあるが、現状では宿泊施設が仕事の客で埋まっているため、観光客が泊まれない状況が今後 3~4 年は続く。一時的宿泊所の仕組みに対する期待を伺いたい。仕事の客は土産をあまり買わず飲み歩かない。

(Gift Poket 高橋)

・今回は 3 か所で宿泊したが、町営センターは利用できなかったのか。

(奥尻町産業振興課/横田課長)

・そこは一番に協議したが、設備が更新されていなかったため、改善するためにお金がかかった。それを直して泊まれるのであれば泊めても良い。今回の実証実験には改修が間に合わなかった。キャパシティは大きい。シャワーもついている。ただ規模が大きくなるほど改修する設備も大きくなる。宿泊を想定していない建物だ。研修と料金を払って泊まることは別次元となる。どれくらい掛かるかまでは試算していない。

(Gift Poket 高橋)

・一昨年に旭川の大学生が来たが、泊まる場所がないと聞いてうちに泊めたことがあった。枠がある方は申し出てもらって、消防法に照らし合わせて改修し、数年だけでも実施してみてもどうか。せっかく来ていただいたのに嫌な思いをして帰られることは残念だ。良い思い出を持って帰っていただきたい。

(叶寿司/井田)

・イベントで、例えば400人呼ぶとして、1年に5回実施すれば2,000人になる。その方が良いと思っていたが、イベントで常時受け付けるということは、イベント以外の満足度で見ると厳しいのではないか。イベントで来て宿泊を断念するのであれば、保養所のような温泉のある宿泊所があり、毛布程度で良ければ受け入れてくれるところがあれば助かる。どこでも良いわけではないのではないか。

(リ・マスター合同会社/篠崎)

・食事をイレギュラーで出していただいたが、年に数回のイベントで臨時的に行うことは可能か。

(叶寿司/井田)

・そうすべきだと思っている。自分たちの責任だ。それを受けないとレンタカーにも体験施設にも人が流れていかない。受けるべきだと思う。大変だからというのではなくすべきことだ。土産店が潤わないと第一次産業にも影響がある。その思いで協力させていただいた。

(リ・マスター合同会社/篠崎)

・最初はセコマのおにぎりも検討していたが、それでは実験の意味がないため、皆様に店を開けて対応していただいた。客からの評価も高かった。

(叶寿司/井田)

・今回は30人分だったが、弁当をカウンターに積んでおき、テーブルは限られるが、暖かいところで食べるという形式で良ければ何度でもできる。知恵を出し合えば可能ではないか。

(株式会社 TAISHI/嶋田)

・もっとキャパシティを増やせるということか。

(叶寿司/井田)

・食事提供としては可能だ。値段も下がり質も下がるだろうが、うちだけではなく様々なところが同じ考えで協力すれば1,000人でも行けるのではないか。ただ奥尻の人はこうすべきだというイメージがある。お客様を本当に満足させたいという気持ちがある。そこまでは必要ないということをきちんと伝えていただければ、協力者も増えるのではないか。

(リ・マスター合同会社/篠崎)

・一時的宿泊の問題に取り組むということで良いか。

(叶寿司/井田)

・個人的にはそう思う。

(リ・マスター合同会社/篠崎)

・2027年までは建設工事が続く。黙っているとこの状態が続いていく。観光客が多いところは経営が難しくなる。新しいことが必要だ。そうすると運営体制がポイントとなる。観光協会、役場もあるが日常業務もある。どうするべきか。

(リ・マスター合同会社/金沢)

・イベントになると400~500人規模になる。誰かに任せることはできない。運営体制についての方向性をお聞かせいただきたい。

(奥尻商工会/明上会長)

・ホテルがあった頃は1,100人が泊まれていた。島での消費は限度がある。外部の観光客が来てくれればフェリーでお金を出してくれる。人が来てもらうことが必要だと皆考えている。ここにあるように課題は連動している。来た人には食事、宿泊場所が必要となる。解決しようとしているが、人も物も金も必要だ。日本は法律の国で規制がかかる。年寄りが手伝えるものはないか。三大祭も一大祭りになり、集中して頑張ってみようとも考えている。会議では否定的なことから入る。今から一歩だけでも前進して外部から人に来てもらうことを考える。明日のことはわからない。今を良い時と考える。皆でできることを話し合える場が必要だ。できることを話し合っていくべきだ。島の人は一時的宿泊所についてほとんど知らないのではないか。今後どうするかを考え参加させていただいた。できることなら明日からでも小さいことから出発するべきだ。クラウドファンディングをしていた。何か発信するべきだ。だめで元々だ。一人ではできなくてもグループではできる。すべての客に満足はしてもらえない。工夫しながら発信していくべきだ。

(リ・マスター合同会社/金沢)

・キャパシティを広げることもあるが、この島を考えるとピーク時に合わせれば他の時期が難しい。フレキシブルに使えるということは良い方法だ。

(奥尻商工会/明上会長)

・ドームテントが良かった。ルールが許すのであれば、自由に泊まれる場所があれば良い。

(株式会社 TAISHI/嶋田)

・運営体制の方向性について何かあるか。

(奥尻島観光協会/松川会長)

・キャンプ場の整備か。宿泊施設があれば一番良いが、施設を建てるのであれば冬場の閑散期を考慮すべきだ。1回で終わるのではなく、イベントの度に何度か改善しつつ行っていく。少しずつ100%に近いもので受け入れられるということにしていくべきだ。フェリーも夏場であれば難しい。祭りも夏にある。

(株式会社 TAISHI/嶋田)

・島外の人もスタッフとして受け入れる実証実験をしてみて、宿泊の実証実験と合わせて、将来的に大きなイベントを実施する方向で考えていけないか。

(リ・マスター合同会社/篠崎)

・1回で終わるのではなく、次はイベントに照準を合わせて実施してみるべきだ。法整備についても課題を共有し、2回目、3回目を実施し、定着させていきたい。

(奥尻レンタカー/逸見)

・空き家をリノベーションして宿泊施設にする人が島外から来た。そういう会社もある。

(奥尻商工会/明上会長)

・青苗ではコピーを取って実際に行って借りているのではないか。

(叶寿司オーナー/井田)

・工事関係の業者が相手だが、昔の建物を改装して最大16名が泊まれるようにした。以前はパーティションで区切っていただけだが、今年春に改装し、すべて個室にした。1軒を業者に貸す。管理、食事はこちらで探して貸している。それができれば空き家活用も進む。空き家についてもっと発信していくべきだ。

(奥尻町産業振興課/横田課長)

・泊まる場所があるという情報発信をして、それで大丈夫な人が来る。きちんと情報発信して来ていただき、受け入れ精度を高くしていく。それでイベントを成り立たせていく。条件を示し納得した上で来てくれる人を受け入れていくと成立していくのではないか。条件提示が重要だと感じた。

(株式会社 TAISHI/嶋田)

・地元としては一時的宿泊所が必要だという方向性が見えた。ステップを踏んでいけないかという意見もあったがどうか。

(北海道運輸局海事振興部/矢島次長)

・必要性は皆様一緒だと思われるが、それをどう持続的に運営するか、どう取りまとめるか、誰が取りまとめるかが根底で考えるべきことだ。思いは一緒だ。島に人を呼びたい、島を潤したいという方向性は一緒だ。それをどう進めていくか。実証実験を受けて出て来た課題をクリアしていかないと進まない。

6. 最終報告会について

(リ・マスター合同会社/金沢)

・3月4日月曜日に予定している。別途案内させていただく。

以上

2)意見交換会発表資料

意見交換会資料
フェリー等を一時的な宿泊施設として活用するための
実証調査

2024年2月2日
株式会社 TAISHI

1

1. 本調査の意義・目的・概要

2

奥尻島が抱える課題と解決への道筋

(仮説) 一時的宿泊所と島外サポート体制構築が奥尻島の観光課題を解決する

奥尻島のふたつの観光課題

宿泊キャパシティの減少

- ・観光産業の中心となる宿泊施設のキャパシティは、2012年の875人から、この10年で433人へとほぼ半減。
- ・2027年度まで続く公共工事の影響もあって、**宿泊施設は慢性的な不足状態**が続いている。

深刻化する担い手不足

- ・後継者不足から今後廃業する宿泊施設の増加も予想される。
- ・人口減少と高齢化が進む奥尻島では、宿泊業に限らず、ほとんどの産業において**担い手不足が将来にわたる課題**となる。

【課題解決の可能性仮説】

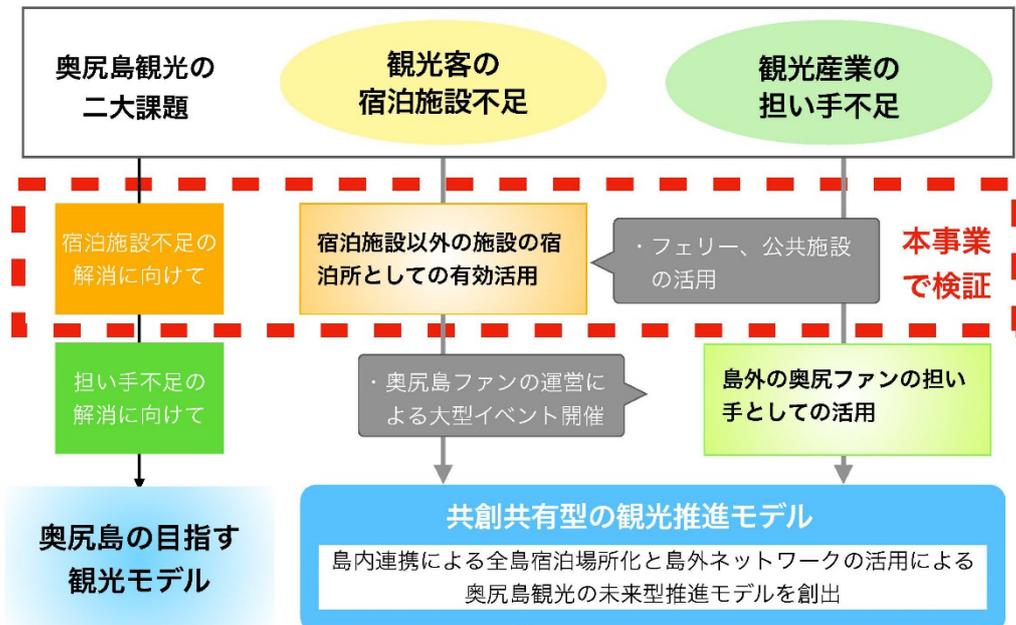
- ・これまでの方法論（固定化された事業領域や自助努力）を**超越する発想**の必要性
- ・**リピーター（奥尻ファン）**が奥尻島を支えるネットワークとなる可能性
- ・大型イベントは島内マンパワーだけではなく、**島外支援力の活用**で発展拡大の可能性

宿泊施設以外の施設の「一時的宿泊施設化」による宿泊キャパシティの増加
 「離島資源（自然+食+住民の魅力）× 大型イベント」による島外サポート体制の構築

3

本実証調査の奥尻島にとっての意義

本実証調査は、奥尻島全体をひとつの宿泊施設とみなした「未来型観光推進モデル」の構築につながる事業である。

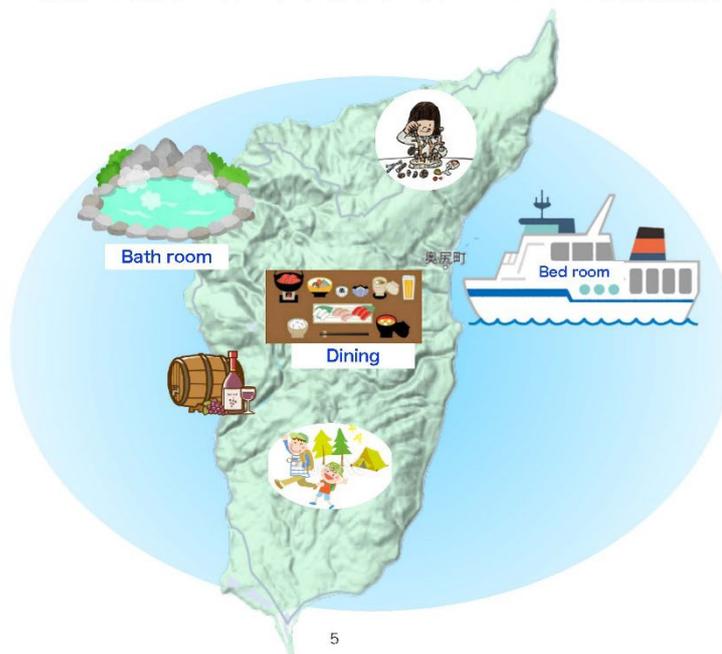


4

奥尻島全体が宿泊施設になる奥尻島観光の未来イメージ

「未来型観光推進モデル」のイメージ

島の施設が互いに機能を補完し合い、奥尻島全体がひとつの宿泊施設となる



調査業務概要

【主要業務】

1. 一時的な宿泊施設を含めた**奥尻島全域での収容能力の試算**
(物理的なキャパシティだけでなく、快適な宿泊環境の提供に向けた実際の宿泊キャパシティを調査検証)
2. **実証調査の実施による**、フェリーや公共施設などを一時的な宿泊所として活用することの**可能性検証と課題の整理**
3. 移動、入浴、食事、宿泊など奥尻島滞在に必要な**インフラの調査と課題の整理**
4. 本事業結果に基づく**今後の方向性、運営体制の検討**
5. 本事業において抽出された課題に対する**実現可能な解決方法の提示**

実証調査

調査実施日 2023年12月2日・3日

参加モニター 外国人3名を含む31名

宿泊先 カランセ奥尻、神居脇温泉保養所、あわび種苗育成センター



7

2. 宿泊利用実現性の検討

8

(1) 奥尻島全域での収容能力の試算

～奥尻島において安全・快適に宿泊可能な キャパシティは499名～

① 民宿・旅館 (20施設)

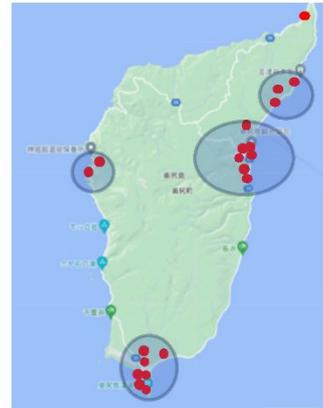
最大収容人数：409名

- ・2食提供する民宿：13施設/260名
- ・朝食のみ提供する民宿：2施設/50名
- ・素泊まりの民宿：5施設/99名

② 一時的宿泊所 (3施設)

最大収容人数：90名

- ※テントを使用した快適な居住空間を保ち、かつ法的にも許容されるという前提のもと最大限の数値を算出

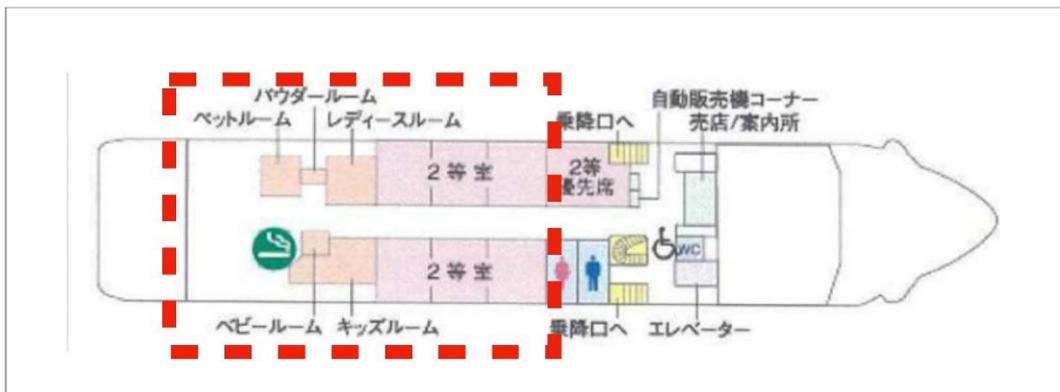


※既存の民宿・旅館のキャパシティに加え、一時的な宿泊所のキャパシティの合計を算出。
※一時的宿泊所におけるキャパシティは、一人当たりの面積による単純計算ではなく、**安全性・快適性・プライバシー**を確保を前提に算出。

9

カランセ奥尻における使用可能な船室

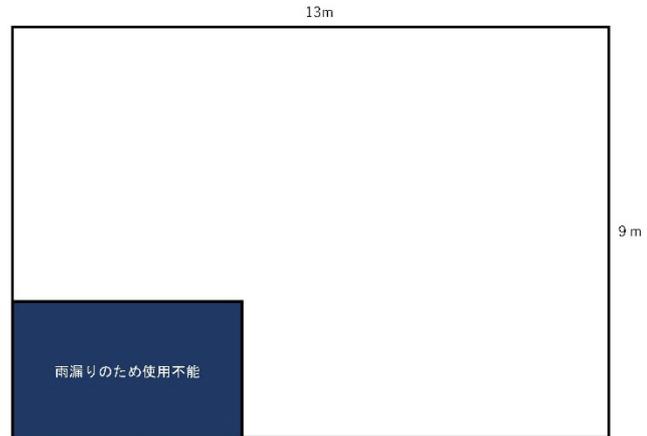
- ・2等船室 約25m²× 6区画
- ・レディースルーム 約24m²
- ・ファミリールーム 約24m²



10

神居脇温泉における使用可能なスペース

・一部雨漏りのため使用不可
 可能な箇所があり、
 実際に使用可能な面積は
 1041㎡



神威脇温泉保養所大広間の面積

区分	面積	備考
大広間	119㎡	9 × 13m
内使用不可部分(雨漏りのため)	15㎡	3 × 5m
使用可能部分	104㎡	

11

～一時的宿泊施設における安全性・快適性確保の方法～

○安全性・快適性・プライバシー保護を確保し、 収容人数の拡大を可能にするドームテント

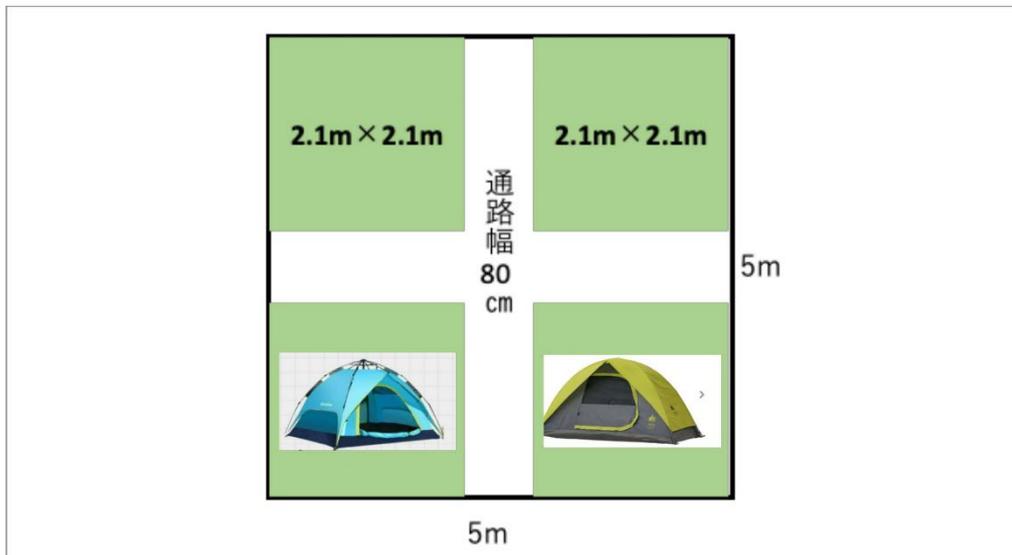
- ・今回の実証調査では、周りの人の気配や音、室内の照明などが気になるという声が多かった。
- ・これらの課題の多くはテントを用いることによってかなり緩和される。
- ・プライバシー保護の面ではほぼ問題なく解決される。
- ・また、テントを使用することで、収容人員を増やすことができる。



12

ドームテントを使った基本ユニットを想定。

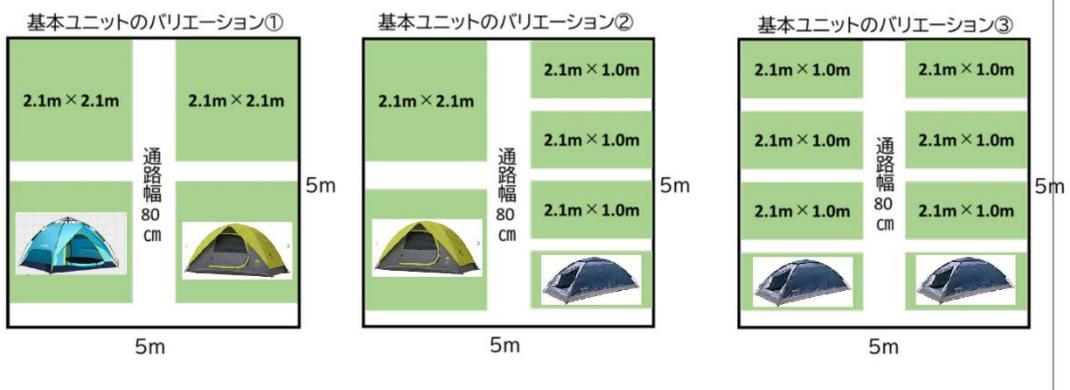
5メートル四方の2等船室の1ブロックに、2.1m四方のテントを4個配置し、これを一時的宿泊施設における基本ユニットとする。



13

基本ユニットのテント使用のバリエーション

- バリエーション①二人用テント×4
- バリエーション②二人用テント×2
- バリエーション③一人用テント×8

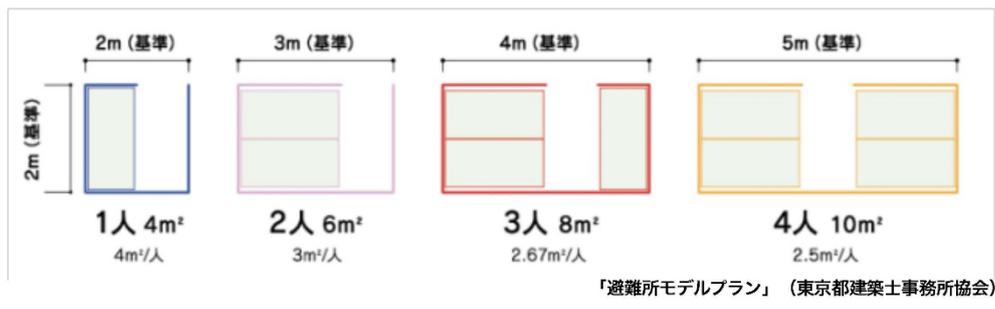


14

一人当たり面積の適合性

～最大収容人数で利用の場合も快適性は保たれる～

- ・「避難所モデルプラン」の居住スペース（下の図）：2.5㎡～4.0㎡
- ・基本ユニットに8名宿泊の場合：約3.1㎡
- ・ドームテントの面積：一人用2.1㎡



15

(2) 実証調査実施による課題の整理

実証調査で抽出された課題は、①一時的宿泊所の設備
②一時的宿泊に必要な備品、③快適空間確保に係る課題の3つに分類した。
これらの課題の中には、テント利用により解消されるものも多い。

1 設備の課題

- ・最大キャパシティを支えるだけの設備がない
(特に洗面所、着替えの場所)
- ・貴重品ロッカーがない

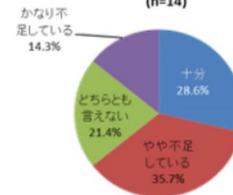
2 備品の課題

- ・町内で保有する寝袋では数量不足
- ・コンセントが不足する

3 共同利用からくる課題 (快適空間確保)

- ・プライバシー空間が少ない
- ・他の人の騒音 (いびきなど)
- ・室内の灯りが眩しい

プライバシー確保について【フェリー】
(n=14)



プライバシー確保について【神威臨】
(n=22)



(実証調査参加者へのアンケート・インタビュー調査より抜粋)

16

コストに係る課題

現在のところ、一時的宿泊所のコストは概算で算出するしかないが、いずれの宿泊所においても、できる限り多くの収容人数を確保する工夫が必要である。

①カランセ奥尻

発生費用（概算）：約500,000円

（船内人件費10万円、燃油代20万円、地上要員3万円、水道電気・汚水処理・清掃薬品等17万円）

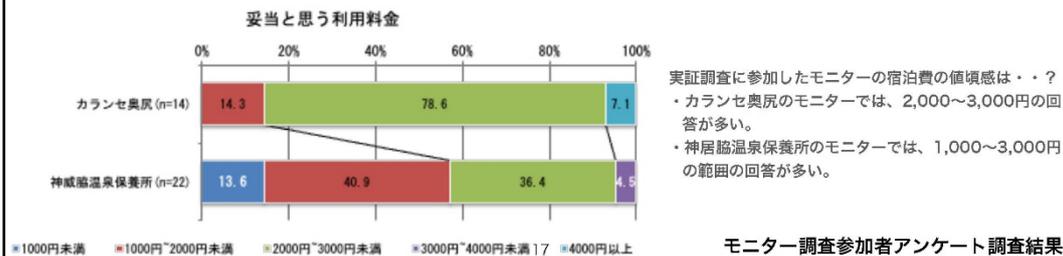
- ・モニター調査18名で利用の場合：27,777円/人
- ・50名で利用可能だった場合：10,000円/人

②神居脇温泉保養所

発生費用（概算）：約60,000円（人件費42,500円+水道光熱、消耗品費18,000円）

- ・モニター調査24名で利用の場合：2,500円/人
- ・30名で利用可能だった場合：2,000円/人

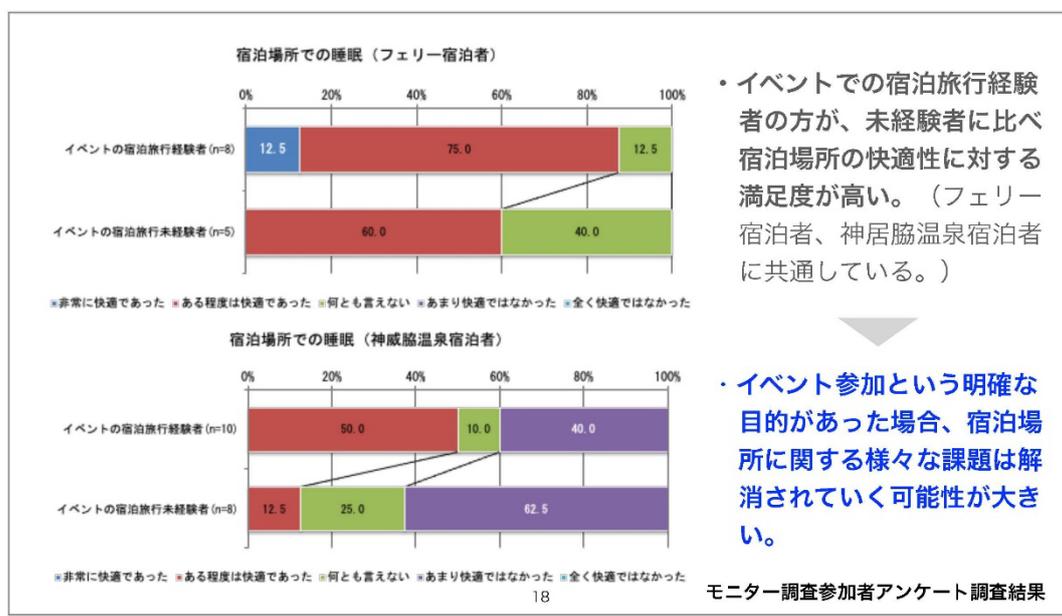
一時的宿泊所の費用はイベント実施費用経費として計上する必要がある。



実証調査に参加したモニターの宿泊費の価値感は・・・？
 ・カランセ奥尻のモニターでは、2,000～3,000円の回答が多い。
 ・神居脇温泉保養所のモニターでは、1,000～3,000円の範囲の回答が多い。

宿泊場所の快適性についての課題

イベント参加という明確な目的が宿泊場所の不満を解消する。



・イベントでの宿泊旅行経験者の方が、未経験者に比べ宿泊場所の快適性に対する満足度が高い。（フェリー宿泊者、神居脇温泉宿泊者に共通している。）

・イベント参加という明確な目的があった場合、宿泊場所に関する様々な課題は解消されていく可能性が大きい。

(3) 奥尻島滞在に必要なとなるインフラと課題

一時的宿泊所を含めた奥尻島の最大キャパシティに対し、最も不足するのは移動手段である。

夕食は、最大必要数に対して47人分不足する。
 神居脇温泉で同時に入浴できるのは、一時的宿泊所の最大キャパの3分の1である。
 レンタカーは、最大必要数の28%しか供給できない。

カテゴリ	施設数	提供可能人数	最大必要数	充足度	備考
夕食	7施設	192人	239人分	▲	夕食会場として利用可能
朝食	5施設	390人	189人分	○	弁当で提供
入浴	1施設	30人	90人分	○	男女各15人
レンタカー	6施設32台	142人	499人分	×	142人

※提供可能人数：奥尻島内の提供可能な施設の合計キャパシティ
 ※最大必要数：一時的宿泊所を含め奥尻島内の宿泊施設の最大収容人数まで宿泊した際に必要となる数量

19

宿泊・飲食・交通関係者から見た課題

課題は連動している。滞在に関連するそれぞれの事業者が連携して解決に向かう必要がある。

① 宿泊施設提供者

- ・利用人数が増えると騒がしくなることが懸念される。
- ・パーティションの提供は手間がかかりすぎて現実的ではない。テントがあれば良い。
- ・イベント民泊であれば、神居脇温泉側で検討可能と思われる。
- ・今回無償提供したが、島にお金が落ちるのでプラスになったと評価している。

② 飲食提供者

- ・夕食は極力セルフにして、その分別のサービスを提供する方が良い。
- ・工夫して宿泊場所を確保することが重要。

③ レンタカー提供者

- ・交通手段としてレンタカーだけでは不足する。イベントの時はバスの持ち込みが必要。
- ・フェリーが1日2便運行の時は、3時間の日帰り利用が増え、レンタカーが不足する。
- ・もっと台数を増やしたいが、閑散期が長い為、経営効率が悪化する。
- ・宿泊場所が不足する場合に備えて実験をするという試みは素晴らしい。

④ その他サービス提供者

- ・交通アクセスがネックである。フェリー到着時にフェリー乗り場から出発するバスがない。
- ・5月から10月までの交通手段を充実させる必要がある。
- ・町内には空き家が沢山ある。民泊についても推進して欲しい。
- ・宿泊だけでなく、飲食・交通と全体で改善することが必要。
- ・フェリーの本数よりも島内の受け入れキャパが重要。フェリー利用率向上のためにも受け入れキャパを増やす。

20

関係者へのヒアリング調査結果

(4) 今後の方向性、運営体制検討（本日の論点）

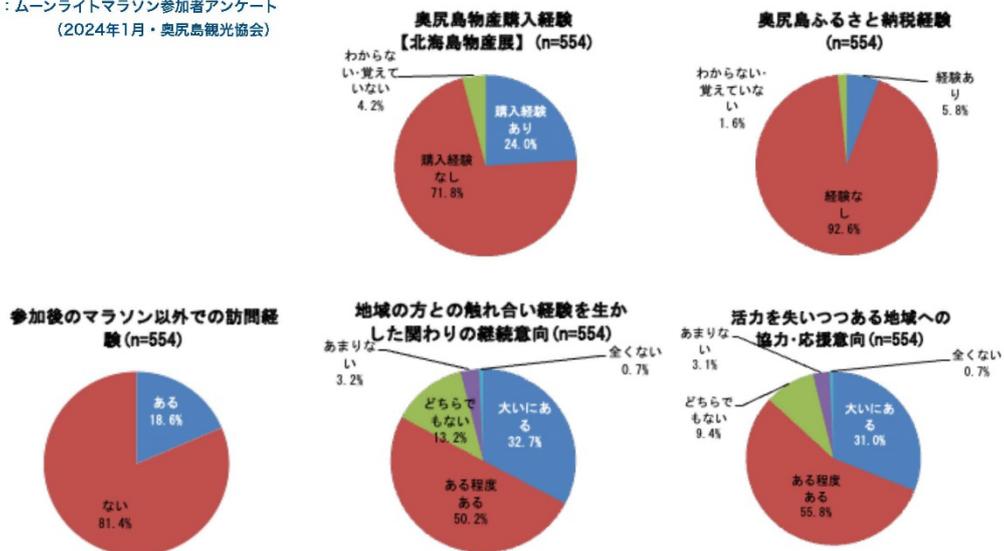
1. 実証調査参加事業者から見た一時的宿泊所への期待
2. 奥尻島にとっての一時的宿泊所の必要性と課題
3. 一時的宿泊所の運営体制と方向性

21

【参考】 アンケート調査結果にみる島外ネットワークの可能性

イベントや祭りの経験者は、その後の物産購入やふるさと納税などで地域とつながる。地域との関わりの継続や、地域に対する協力や応援の意向も強い。

出典：ムーンライトマラソン参加者アンケート
(2024年1月・奥尻島観光協会)



22

(8)最終報告会

1)議事録

業務	フェリー等を一時的な宿泊施設として活用するための実証調査(奥尻)最終報告会
日時	令和6年3月4日(月)13:30~15:00
場所	奥尻町海洋研修センター 大ホール
出席者	ハートランドフェリー株式会社取締役業務本部長:浦田 耕造 ハートランドフェリー株式会社支店長代理:佐野 由裕 奥尻町産業振興課係長:池田 勇一 奥尻島観光協会代表理事:松川 武彦 奥尻島観光協会副理事長:外崎 雄斗 奥尻商工会会長:明上 雅孝 叶寿司代表:井田 善直 Gift Pocket 代表:高橋 幸子 島じかん代表:森田 吉紀 奥尻観光ガイドサービス代表:井口 和広 北海道運輸局海事振興部次長:矢島 修 北海道運輸局函館運輸支局支局長:村上 浩之 北海道運輸局函館運輸支局主席運輸企画専門官:植田 雅巳 株式会社 TAISHI 代表取締役:菅野 剛 株式会社 TAISHI ディレクター:嶋田 健一 リ・マスター合同会社 CEO:篠崎 宏 リ・マスター合同会社シニアパートナー:金沢 英明
資料	最終報告会発表資料

1. 開会(司会)

2. 主催者挨拶

(北海道運輸局海事振興部/矢島次長)

- ・本日はお忙しい中最終報告会にご参加いただきお礼申し上げます。また常日頃より運輸行政に、ご理解とご支援を賜り、この場を借りてお礼申し上げます。奥尻島の慢性的な宿泊施設不足という背景から、一時的な観光需要に対応するために、停泊するフェリーや公共施設などを一時的な宿泊施設として活用するための実証調査及び関係者の皆様との意見交換をこれまでに行ってきた。この実証調査、意見交換会にご協力いただいた、奥尻町、ハートランドフェリーをはじめ、関係者の皆様にはお礼を申し上げます。
- ・今回の実証事業では、一時的な宿泊施設について継続的な実施と実現を望む声が多く聞かれた。今後の継続実施に向けて運営体制に係る課題やマンパワー不足への対応、単一的な運営主体の構築が必要となる。新しい考え方を取り入れた運営主体の仕組み作りが必要になる。本日は本調査の結果を元に、今後の方向性について関係者及び奥尻町の皆様と共有させていただきたい。将来的には島のファンを拡大させ、来島者を増やし、島全体を宿泊施設に変えていく方策が、奥尻町の目指す姿だと考えている。

3. 最終報告

(リ・マスター合同会社/金沢)

・資料にもとづいて説明。

4. 質疑

(株式会社 TAISHI/菅野)

・この場を借りて事務局として、宿や人手不足を解決するために大きな一歩を踏み出すことができたことに、お礼を申し上げたい。工事関係者が来ているため当面はしのげるが、ほとんどの宿は工事需要が減れば宿を閉める考えでいる。また昼食を摂る場所がない。観光客が減るとサービス業も減る。回復は相当難しい。転換期を迎えており、方向性を変えるタイミングに来ている。キーワードにファンづくりがある。総務省を中心に関係人口を言っているが、2050 年で人口が半減する予測だ。生き残っていくためには、外の力を借りることが重要だ。まずクラウドファンディングを使って寄附を募集している明上会長にコメントをいただきたい。

(奥尻商工会/明上会長)

・やらないよりやった方が良く、諦めるよりやった方が良く、島の人も知らなかった観音様を、観光客が回る定期観光ルートに入れていただいた。観光客は島の人との交流が少ない。2 年ほど前に、お金がなくても夢がかなうということで、クラウドファンディングを始めた。72 歳で始めた。毎日写真を投稿している。やりつくしてネタがなくなったが、漁師の生活等も発信している。その後、島へ来る人も増えている。誰かが画面を見ている。296 万円が貯まったが、締め切った後も維持費のために使ってほしいと振り込んでくれる人がいる。1 万円を 10 回振り込んでくれた人もいた。すべて細かく収支決算を報告した。向こうの顔はわからないが、島外からも助けてもらった。寄付するために働いている方がたくさんつながってきている。今回の支援は 200 人くらいからいただいた。最後に 50 万円を振り込んでくれた人がいる。そのうち 20 万円を使わせていただく。いまだに毎日活動報告を送っている。すべての島のことを送っている。向こうも楽しみにしている。2 年もたっていないが発信回数は 4000 回を超えた。台本はない。自分でできることを諦めずに続けているだけだ。この場で応援の声があったことをお伝えしておきたい。

(株式会社 TAISHI/菅野)

・宿不足、担い手不足という大きな課題がある中で、具体的に実践されている会長がいる。これを契機に奥尻の方が、奥尻に来たがっている、仲間になりたがっている人がいることを、一緒に考えていく良い機会ではないか。具体的にはムーンライトマラソンのアンケートでもあったが、多くの方から運営側に回りたいという声をいただいている。学生が地域の支援をやってみたいと考えていることについて伺いたい。

(リ・マスター合同会社/篠崎)

・大学で教えているが、学生は地域に興味を持ち、接点を持ちたいと思っている。数日前の日経新聞にあったが、日本の特許数はアメリカと比較して 1.8 倍の差しかない。ただその特許を金額換算すると 50 倍の差がある。大学の弱点は日本の文系教育にある。人口で比べると 1.8 倍はまだ良い数字だ。理系が編み出した技術をプロデュースすることが文系の役割だ。ただ文系では論文を書けない、日本語もろくに書けない学生がたくさん卒業している。日本

の技術力は海外と比べて差がないが、文系人材に差がある。ビジネスとして大きくしていくことは文系の役割だ。奥尻島では外崎氏が学生を受け入れているが、これが日本にとって重要なことだ。東京では都内の施設で地域を知ったという先生が多いが、奥尻や過疎の地域など課題が大きくなっている地域に学生を出すべきだ。そこで吸収したものを持ち帰って、考え学び、理系の技術をビジネスにしていくことが重要だ。チャンスがあれば来てみたいという学生は多い。接点を作り地域に送り込むことが重要だ。これが日本で最も重要な学び方の一つだ。そこで考え実践した学生が将来的に社会課題を解決していく。文系人材を学生のうちに地域に出していくことが必要だ。

(株式会社 TAISHI/菅野)

・奥尻の方はおもてなしの精神が熱い。ここに来て一緒に手伝わさせていただくということが、学びの機会となる。学生がプロデュースする能力、いわゆる課題解決能力を実践する場があり、お互いにとってウィンウィンの関係がある。ぜひ実践していきたい。高橋氏は学生を受け入れているが、それについて伺いたい。

(Gift Pocket/高橋代表)

・奥尻の海藻、植物を使ってアクセサリーをしている。もう一つは海洋ごみの問題があり、学生にその意識を持ってもらうため、海岸でプラスチックの回収を行い、アクセサリー、小物を作って持ち帰ってもらっている。学生は喜んで帰っていただいている。1回で2,3人から、家族連れ、子どもの夏休みの課題のためや、団体客等も来ている。様々だ。10数人で来ることもある。夫が漁師のため、漁具がぶら下がっている部屋の中で行っている。

(株式会社 TAISHI/菅野)

・地元の人と環境問題について交流する機会は少ない。島ならではの取組だ。

(Gift Pocket/高橋代表)

・自分が島で何ができると考え、海洋ごみの取組をしている。

(株式会社 TAISHI/菅野)

・泊まった際に何をすることが重要だ。飲食も重要だが体験サービスも重要だ。こういったことを少しずつ増やしていく。一方で宿泊場所もしっかり作っていく。アンケートでフェリーに泊まること自体が楽しかったという声があった。そもそも泊まる施設ではないため、専門でサービスを充実させることはできないが、それについてどうだったか。

(ハートランドフェリー/浦田業務本部長)

・移動に用いる船のため、宿泊ということでは皆様にご苦勞を強いたのではないかと。何を目的にするかが重要だ。イベントのための宿泊に焦点を当てれば、泊まれるだけで良い。泊まっておいしいものを食べに来たということではまた違ってくる。今回のアンケートの結果で答えが出たのではないかと。本来の宿泊施設で充足できればベストだが、一時的にはフェリーを使うことができる。目的をどこに捉えていくか。協力できることに関しては今後も協力していきたい。できれば喜んで帰っていただきたい。

(株式会社 TAISHI/菅野)

・完璧な宿は難しいが、十分楽しんでいただけたのではないかと。今後ともよろしくお願ひしたい。学生の学びの場にするという話があったが、相当数の学生を島に呼んでいる外崎氏にお話し

を伺いたい。

(奥尻島観光協会/外崎副理事長)

・移住して 7 年になるが、奥尻島を知らない世代にとっては、旅行先として候補地に上がらないということが分かって来た。今は良いが、今後を考えると来る人が減ってしまうということで、大学生を呼び始めた。離島の人手不足とそこ行ってみたい東京の学生をマッチングしている NPO があつたため、そこに問い合わせた。奥尻を知ってもらい、好きになってもらうために始めた。NPO の方は台湾から実際に奥尻に来られた。奥尻は十分ポテンシャルがあるということで受け入れ先に認定された。2019 年から 120 名が来ている。大学生の変化について、20 人ほど受け入れるが、肌感覚で 2, 3 人は毎年 1 回から 2 回、島に再訪してくれる。帰省するという言い方で来てくれる。島民に会いたいという人もいる。

(株式会社 TAISHI/菅野)

・学生のニーズは十分にある。もっと全体で取組んでいくべきだ。松川会長は今回の取組を通してどのようにお感じになったか。

(奥尻島観光協会/松川代表理事)

・フェリーや町の施設を活用することは、非常に良いことだ。ただ現実的かどうか。移住したい方、始めたい方を後押しし島を維持していく。バスも実際は増やすことは難しい。担い手も欲しい。島にどんどん学生を呼んできていただき、一人でも二人でも島に戻って来てくれると良い。新しい方向性を決めていきたい。

(株式会社 TAISHI/菅野)

・可能性がある。この取組をどう広げて、V 字回復していくかが重要と考える。最後に村上支局長に全体の感想を伺いたい。

(北海道運輸局函館支局/村上支局長)

・奥尻の現状については関係者から何度も耳にしていた。運輸局として何かできないかと考えていた。今回はしっかりした調査をしていただき感謝申し上げたい。今後この事業をどうするのかと聞かれる。可能性を調査し、課題を抽出したが、後は島の人が今後どのようにより良くしていくかを考えていくべきだ。これを基に、アイデアがあればいただきたい。札幌でも人口減少のフェーズに入っている。奥尻はかなり厳しいが、何もしないと美しい島の自然、受入体制がなくなってしまう。今後も頑張っていたいただきたい。

(株式会社 TAISHI/菅野)

・島の中だけで解決することは難しい。世界も巻き込んで島の未来を作っていくことを、共に考えていきたい。引き続きご支援をよろしくお願いしたい。

5. 閉会

以上

2)最終報告会発表資料

フェリー等を一時的な宿泊施設として活用するための
実証調査

報告会資料

2024年3月4日
株式会社 TAISHI

1. 本調査の意義・目的・概要

奥尻島が抱える課題と解決への道筋

(仮説) 一時的宿泊所と島外サポート体制構築が奥尻島の観光課題を解決する

奥尻島のふたつの観光課題

宿泊キャパシティの減少

- ・観光産業の中心となる宿泊施設のキャパシティは、2012年の875人から、この10年で433人へとほぼ半減。
- ・2027年度まで続く公共工事の影響もあって、**宿泊施設は慢性的な不足状態**が続いている。

深刻化する担い手不足

- ・後継者不足から今後廃業する宿泊施設の増加も予想される。
- ・人口減少と高齢化が進む奥尻島では、宿泊業に限らず、ほとんどの産業において**担い手不足が将来にわたる課題**となる。

【課題解決の可能性仮説】

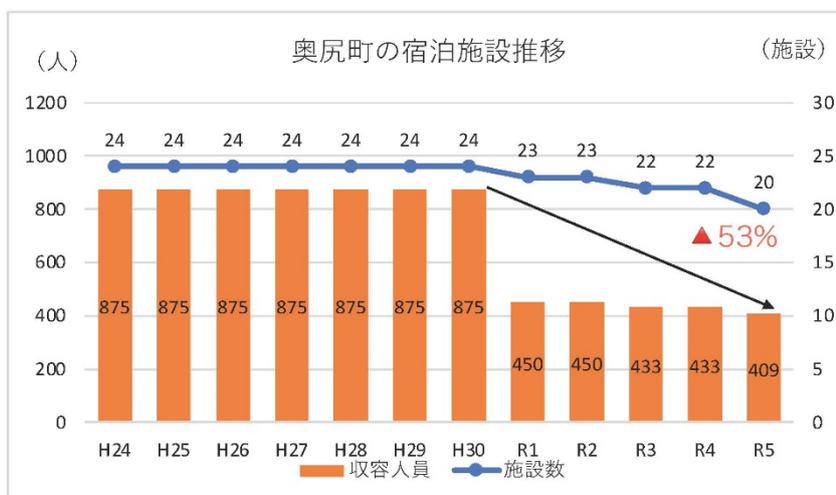
- ・これまでの方法論（固定化された事業領域や自助努力）を**超越する発想の必要性**
- ・**リピーター（奥尻ファン）**が奥尻島を支えるネットワークとなる可能性
- ・大型イベントは島内マンパワーだけではなく、**島外支援力の活用で発展拡大の可能性**

宿泊施設以外の施設の「一時的宿泊施設化」による宿泊キャパシティの増加
 「離島資源（自然+食+住民の魅力）× 大型イベント」による島外サポート体制の構築

3

【参考】 宿泊施設の減少

直近5年間で、宿泊収容人員は半減している。

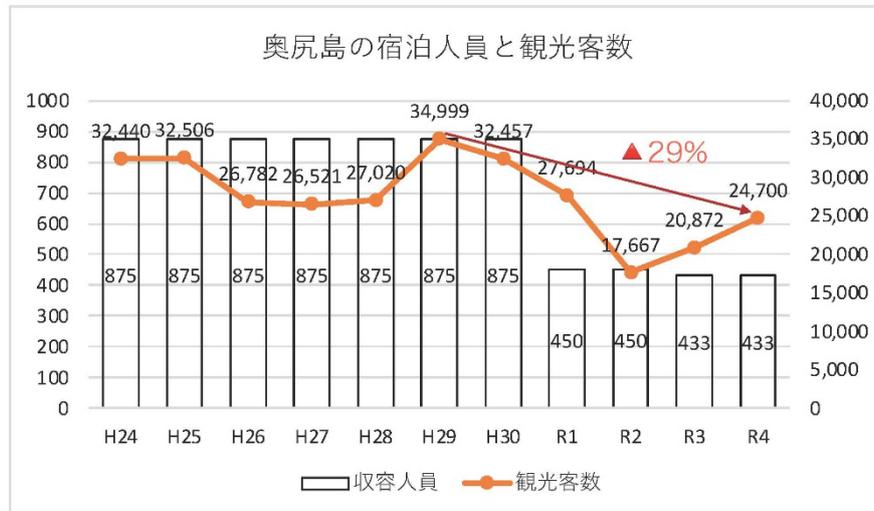


出典：奥尻島観光協会・奥尻町役場政策推進課よりデータ提供

4

【参考】 宿泊施設の減少

直近5年間で、観光客は約29%減少した。

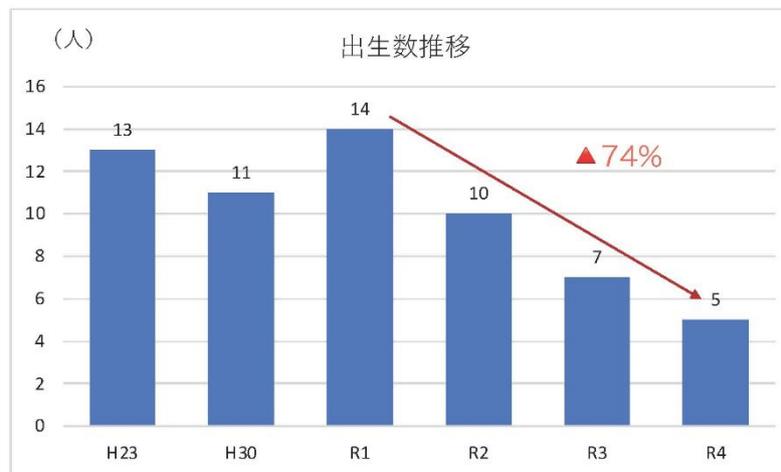


出典：奥尻島観光協会・奥尻町役場政策推進課よりデータ提供

5

【参考】 人口の減少-① 出生数の減少

直近4年間で、出生数は36%まで減少した。

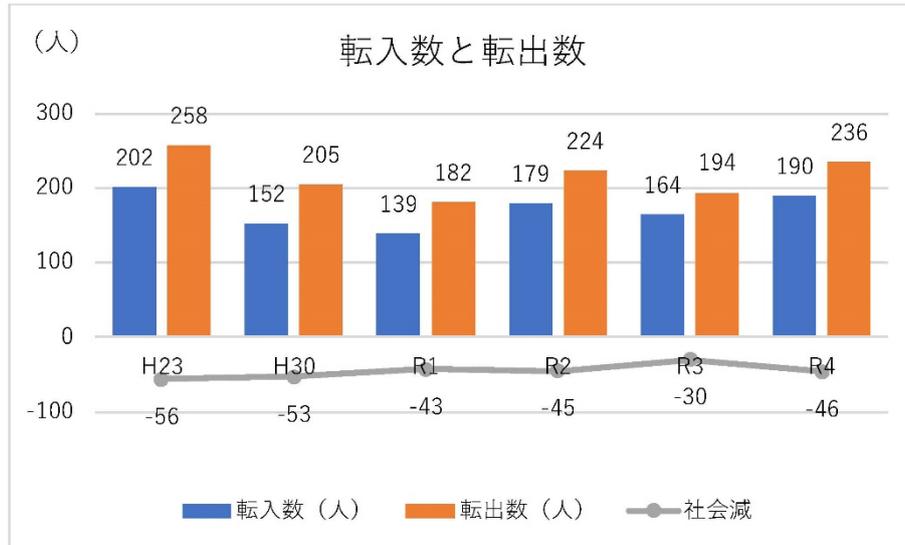


出典：北海道統計

6

【参考】人口の減少-② 転出者の増加

転出超過により毎年30~40人減少。



出典：北海道統計

7

【参考】人口の減少-③ 将来の奥尻島の人口

今後20年間で奥尻町の人口は半減の見通し。

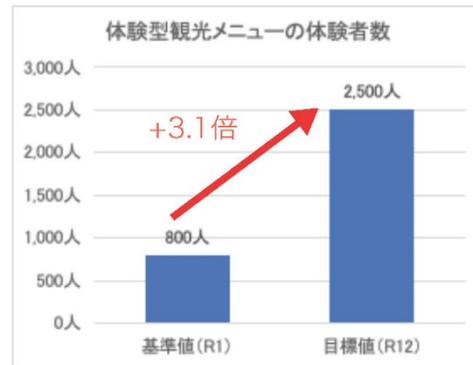


出典：将来推計人口（2023年推計/国立社会保障・人口問題研究所）

8

第6期奥尻町発展計画と奥尻町の観光

第6期奥尻町発展計画の「交流のあるまちづくり」に掲げられた目標は、観光客数25%の増加と、体験型観光メニューの体験者数2.1倍の増加を目指している。



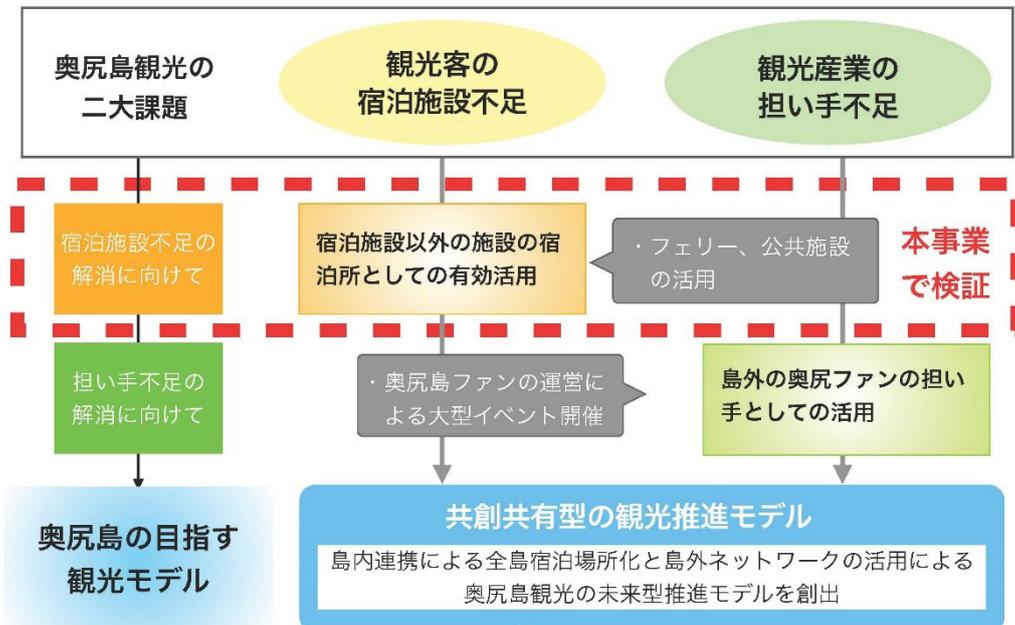
指標	基準値 (R1)	目標値 (R12)	増加数	増加率
観光入込客数	2.8万人	3.5万人	0.7万人	25%
体験型観光メニューの体験者数	延べ800人	延べ2,500人	1,700人	212.5%

9

出典：第6期奥尻町発展計画（令和3年6月奥尻町）

本実証調査の奥尻島にとっての意義

本実証調査は、奥尻島全体をひとつの宿泊施設とみなした「未来型観光推進モデル」の構築につながる事業である。



10

一時的宿泊施設の実証調査

減少傾向にある宿泊施設を【一時的に】補完することの意味

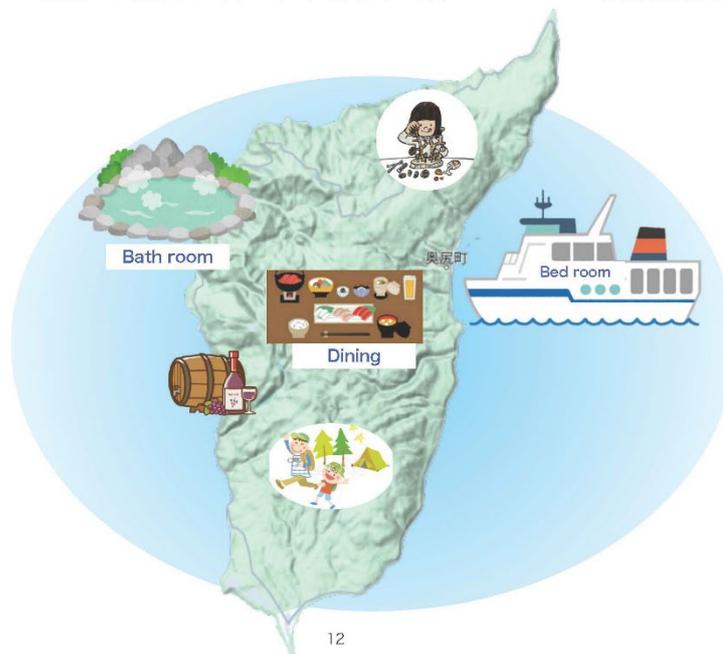
- 5年間で半減した宿泊施設の収容人員を、宿泊施設の新設によって回復させることはかなり困難と考えられる。
- 宿泊施設の収容人員を元に戻せたとしても、冬期間のオフシーズンにはオーバーキャパシティになってしまう。
- 奥尻町にとって最も望ましいのは、必要な時にのみ使用可能な、フレキシブルな宿泊所ではないか。

11

奥尻島全体が宿泊施設になる奥尻島観光の未来イメージ

「未来型観光推進モデル」のイメージ

島の施設が互いに機能を補完し合い、奥尻島全体がひとつの宿泊施設となる



12

実証調査

調査実施日 2023年12月2日・3日

参加モニター 外国人3名を含む31名

宿泊先 ①カランセ奥尻(18名) ②神居脇温泉保養所 (24名)

③あわび種苗育成センター (4名) 関係者、メディアを含め46名が宿泊



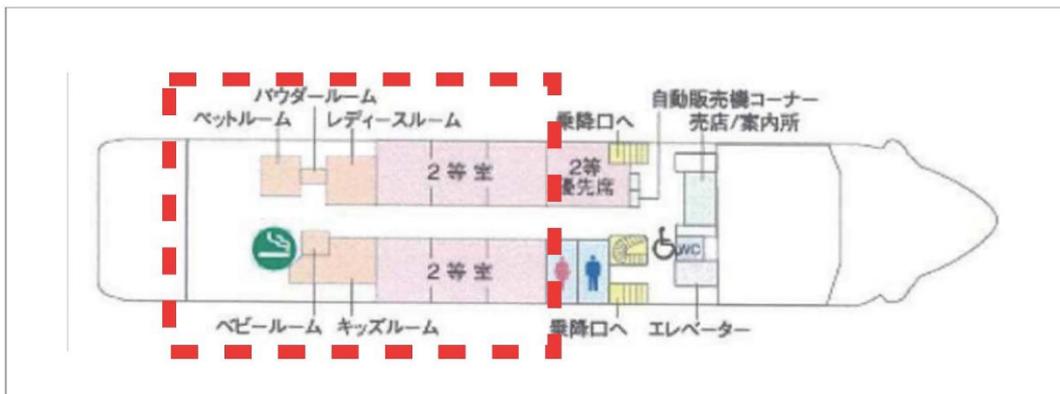
実証調査



活用した一時的宿泊所

カランセ奥尻における使用可能な船室は、8区画

- ・2等船室 約25㎡× 6区画
- ・レディースルーム 約24㎡
- ・ファミリールーム 約24㎡

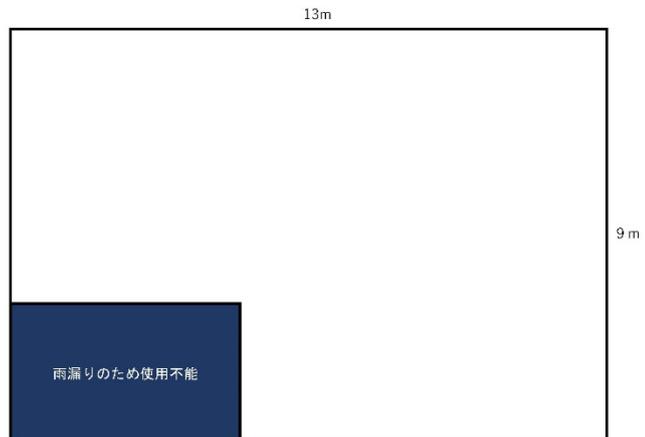


15

活用した一時的宿泊所

神居脇温泉における使用可能なスペース

- ・一部雨漏りのため使用不可能な箇所があり、実際に使用可能な面積は104㎡



神居脇温泉保養所大広間の面積

区分	面積	備考
大広間	119㎡	9×13m
内使用不可部分(雨漏りのため)	15㎡	3×5m
使用可能部分	104㎡	

16

調査業務概要

【主要業務】

- 実証調査の実施による、フェリーや公共施設などを一時的な宿泊所として活用することの可能性検証と課題の整理
- 抽出された課題に対する実現可能な解決方法の提示
- 一時的な宿泊施設を含めた奥尻島全域での収容能力の試算
(物理的なキャパシティだけでなく、快適な宿泊環境の提供など実際の宿泊キャパシティを調査検証)
- 移動、入浴、食事、宿泊など奥尻島滞在に必要なインフラの調査と課題の整理
- 本事業結果に基づく今後の方向性、運営体制の検討

17

2. 宿泊利用実現性の検討

18

2-1. 可能性検証と課題の整理

2-2. 実現可能な解決方法

2-3. 奥尻島全域での収容能力の試算

2-4. 奥尻島滞在に必要なとなるインフラの課題

2-5. 今後の方向性、運営体制の検討

19

宿泊・飲食・交通関係者から見た課題

課題は連動している。滞在に関連するそれぞれの事業者が連携して解決に向かう必要がある。

① 宿泊施設提供者

- ・利用人数が増えると騒がしくなることが懸念される。
- ・パーティションの提供は手間がかかりすぎて現実的ではない。テントがあれば良い。
- ・イベント民泊であれば、神居脇温泉側で検討可能と思われる。
- ・実際の利用に当たっては、人件費や光熱費等の費用負担が発生する。

② 飲食提供者

- ・夕食は極力セルフにして、その分別のサービスを提供する方が良い。
- ・工夫して宿泊場所を確保することが重要。

③ レンタカー提供者

- ・交通手段としてレンタカーだけでは不足する。イベントの時はバスの持ち込みが必要。
- ・フェリーが1日2便運行の時は、3時間の日帰り利用が増え、レンタカーが不足する。
- ・もっと台数を増やしたいが、閑散期が長い為、経営効率が悪化する。
- ・宿泊場所が不足する場合に備えて実験をするという試みは素晴らしい。

④ その他サービス提供者

- ・交通アクセスがネックである。フェリー到着時にフェリー乗り場から出発するバスがない。
- ・5月から10月までの交通手段を充実させる必要がある。
- ・町内には空き家が沢山ある。民泊についても推進して欲しい。
- ・宿泊だけでなく、飲食・交通と全体で改善することが必要。
- ・フェリーの本数よりも島内の受け入れキャパが重要。フェリー利用率向上のためにも受け入れキャパを増やす。

20

関係者へのヒアリング調査結果

参加したモニターから見た課題

コインロッカーやカーテン、パーティション以外は、解決可能な課題が多い。

①フェリーの利用

- ・洗面所の数、着替えの場所が少ない。
- ・枕元に電源があると良い。
- ・通路と部屋の間にもカーテンが欲しい。
- ・周りの音が気になる。
- ・プライベート空間が必要。
- ・荷物を預けられる場所や貴重品用の小型ロッカーが欲しい。
- ・真っ暗だったので、トイレに行く時に少し不安だった。
- ・天気が悪い時は、波の音や揺れがどうなるか気になる。

②神威脇温泉保養所・奥尻町あわび種苗育成センター

- ・隣との距離が近すぎる。
- ・いびきの音が気になる。
- ・非常口の照明が明るすぎる。
- ・ドライヤーの数が少ない。
- ・コンセントの場所が遠い。
- ・Wi-Fiがない。
- ・通路が一方のみだったので、通る時寝ている人に気を遣う。
- ・貴重品ロッカーが欲しい。
- ・背の高いパーティションで仕切って欲しい。

21

モニターへのヒアリング調査結果

課題の分類

モニターから出された課題では、解決可能なものが多い。

一時的宿泊所の本来の用途として不要な事項に関しては、改善不要と判断。

①フェリー

対応可能とみられる課題	対応困難とみられる課題
<ul style="list-style-type: none"> ・つい立の改善 ・枕の改善 ・コンセント（延長コード） ・アメニティ販売（スリッパ、髭剃り等） ・テントのレンタルあるいは持参 ・収容人員の制限 	<ul style="list-style-type: none"> ・波の音、揺れ ・洗面所の数、着替えの場所の数 ・50～70cmのつい立 ・貴重品ロッカー ・部屋と通路との間の仕切り（カーテン）

②神威脇温泉保養所・奥尻町あわび種苗育成センター

対応可能とみられる課題	対応困難とみられる課題
<ul style="list-style-type: none"> ・段ボールつい立の改善 ・枕の改善 ・耳栓の販売あるいは持参の推奨 	<ul style="list-style-type: none"> ・パーティションを増やす ・通路の複線化 ・貴重品ロッカー ・女性専用ルームの設置 ・いびきの音 ・ドライヤーの数 ・Wi-Fi ・入浴時間の延長

22

課題の整理

実証調査で抽出された課題は、①一時的宿泊所の設備
②一時的宿泊に必要な備品、③快適空間確保に係る課題の3つに分類される。
これらの課題は、テント利用などにより解消されるものが多い。

1 設備の課題

- 最大キャパシティを支えるだけの設備がない
(特に洗面所、着替えの場所)
- 貴重品ロッカーがない

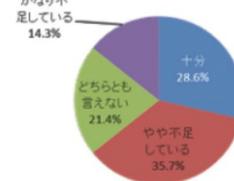
2 備品の課題

- 町内で保有する寝袋では数量不足
- コンセントが不足する

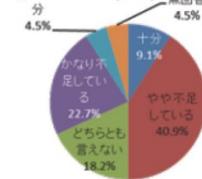
3 共同利用からくる課題 (快適空間確保)

- プライバシー空間が少ない
- 他の人の騒音 (いびきなど)
- 室内の灯りが眩しい

プライバシー確保について【フェリー】
(n=14)



プライバシー確保について【神威館】
(n=22)



(実証調査参加者へのアンケート・インタビュー調査より抜粋)

23

2-1. 可能性検証と課題の整理

2-2. 実現可能な解決方法

2-3. 奥尻島全域での収容能力の試算

2-4. 奥尻島滞在に必要なとなるインフラの課題

2-5. 今後の方向性、運営体制の検討

24

一時的宿泊施設における安全性・快適性確保の方法

○安全性・快適性・プライバシー保護を確保し、 収容人数の拡大を可能にする【ドームテント】

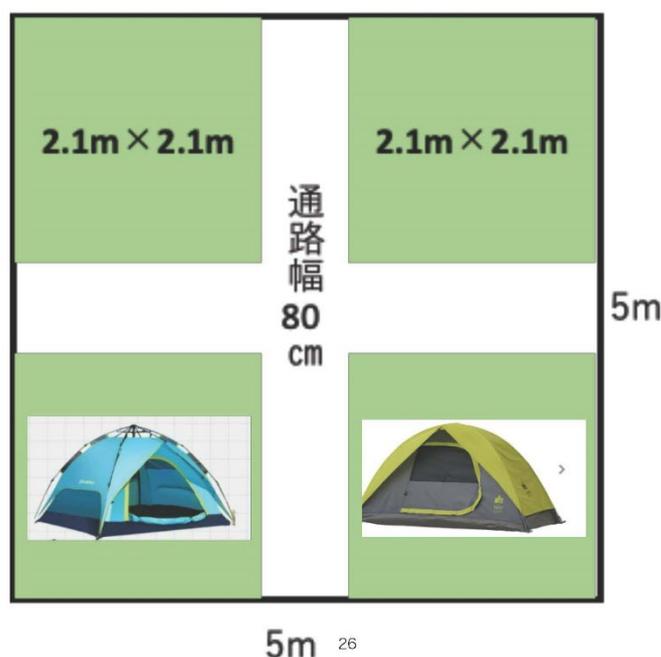
- ・今回の実証調査では、周りの人の気配や音、室内の照明などが気になるという声が多かった。
- ・これらの課題の多くはテントを用いることによってかなり緩和される。
- ・プライバシー保護の面ではほぼ問題なく解決される。
- ・テントを使用することで、収容人数を増やすことができる。
- ・一時的宿泊所において使用するテントは、利用者が持ち込むことで運営上の負担を軽減できる。



25

ドームテントを使った基本ユニット

2等船室の1ブロックに、2.1m四方のテントを4個配置

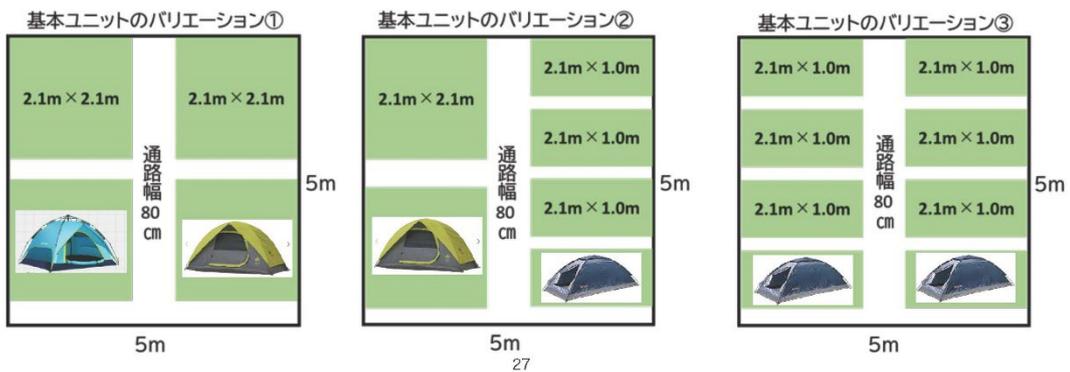


カランセ奥尻の収容能力試算①

2等船室（広間24.6㎡×6区画）

～2等船室の1区画の最大収容人数は各8名～

- ①二人用テント×4（収容人員4名～8名）
- ②二人用テント×2、一人用テント×4（6名～8名）
- ③一人用テント×8（収容人員8名）

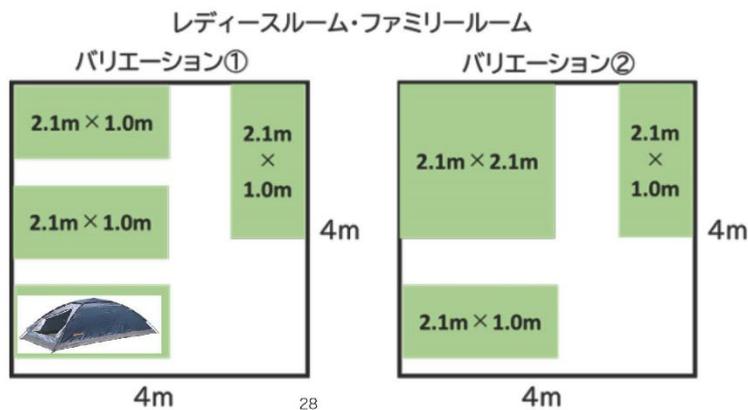


カランセ奥尻の収容能力試算②

②レディースルーム・ファミリールーム（15.9㎡×2区画）

～最大収容人数は各4名～

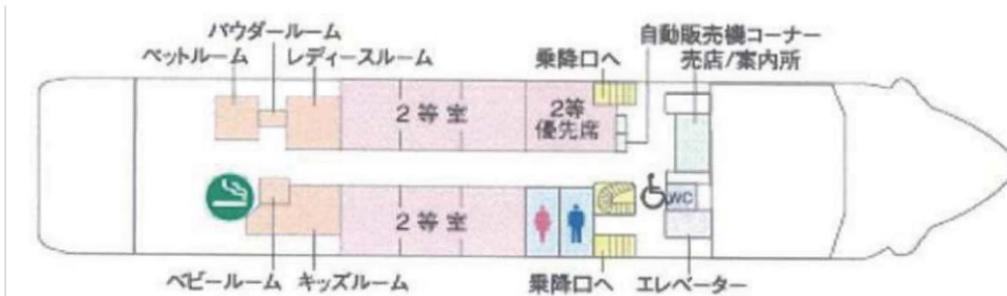
- ・一人用テント×4（収容人員4名）
- ・二人用テント×1、一人用テント×2（3名～4名）



カーンセ奥尻の最大キャパシティ

安全性・快適性・プライバシーを考慮した
最大キャパシティは56名

- ・ 2等船室（広間） : 8名×6区画=48名
- ・ レディースルーム、ファミリールーム : 4名×2区画=8名

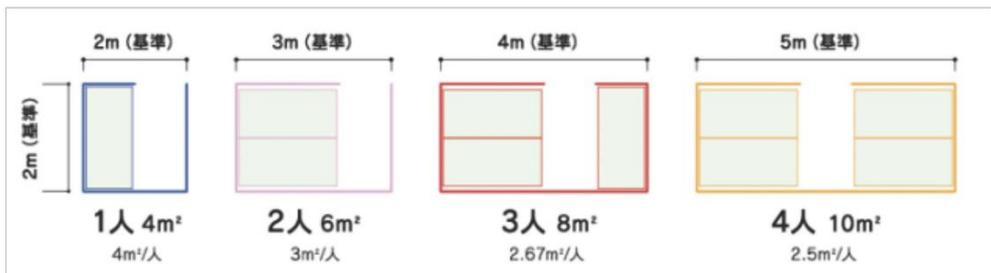


29

一人当たり面積の適合性

～最大収容人数で利用の場合も快適性は保たれる～

- ・ 「避難所モデルプラン」の居住スペース : 2.5m²～4.0m²
- ・ 2等船室（広間）に8名宿泊の場合 : 約3.1m²
- ・ レディースルームに4名宿泊の場合 : 3.9m²
- ・ ドームテントの面積 : 一人用2.1m²



「避難所モデルプラン」 (東京都建築士事務所協会)

30

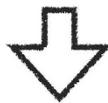
ドームテントを使用してもなお残る課題

1 設備の課題

- ・ 最大キャパシティを支えるだけの設備がない
(特に洗面所、着替えの場所)

2 備品の課題

- ・ 町内で保有する寝袋では数量不足



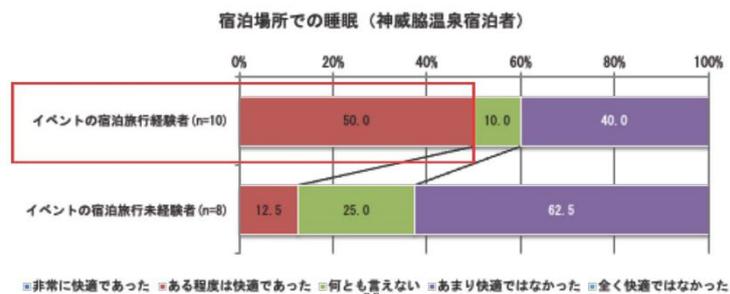
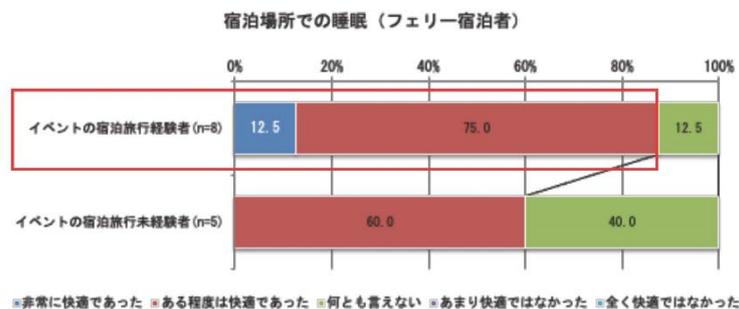
- ① タイムシェアリングによる解決
- ② 利用者が使用備品を持参することによる解決

「共創・共有」の発想が不可欠

31

参加者の経験による宿泊場所の評価

イベント参加という明確な目的が宿泊場所の不満を解消する。



32

コストに関する課題

一時的宿泊所のコストは概算で算出するしかないが、いずれの宿泊所においても、できる限り多くの収容人数を確保することで、一人当たりの負担を軽減する工夫が必要である。

①カランセ奥尻

発生費用（概算）：約500,000円

（船内人件費10万円、燃油代20万円、地上要員3万円、水道電気・汚水処理・清掃薬品等17万円）

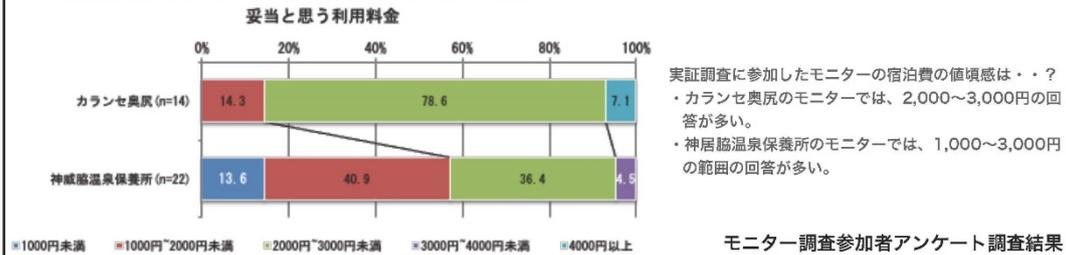
- ・モニター調査（18名で利用）の場合：27,777円/人
- ・56名で利用の場合：8,900円/人

②神居脇温泉保養所

発生費用（概算）：約60,000円（人件費42,500円+水道光熱、消耗品費18,000円）

- ・モニター調査(24名で利用)の場合.：2,500円/人
- ・30名で利用可能だった場合.：2,000円/人

一時的宿泊所の費用はイベント実施費用経費として計上する必要がある。



2-1. 可能性検証と課題の整理

2-2. 実現可能な解決方法

2-3. 奥尻島全域での収容能力の試算

2-4. 奥尻島滞在に必要なとなるインフラの課題

2-5. 今後の方向性、運営体制の検討

(1) 一時的宿泊所を加えた収容能力の試算

～奥尻島において安全・快適に宿泊可能な キャパシティは499名～

① 民宿・旅館 (20施設)

最大収容人数：409名

- ・ 2食提供する民宿：13施設/260名
- ・ 朝食のみ提供する民宿：2施設/50名
- ・ 素泊まりの民宿：5施設/99名

② 一時的宿泊所 (3施設)

最大収容人数：90名

- ・ カランセ奥尻：56名
- ・ 神威脇温泉保養所：29名
- ・ 奥尻町あわび種苗育成センター：5名



※既存の民宿・旅館のキャパシティに加え、一時的な宿泊所のキャパシティの合計を算出。
 ※一時的宿泊所におけるキャパシティは、一人当たりの面積による単純計算ではなく、**安全性・快適性・プライバシー**を確保を前提に算出。

35

(1) 潜在的な一時的宿泊所のキャパシティ試算

各地区にある集会所や自治振興会館が活用可能になれば、下記の施設で384名の宿泊が可能と試算される。

施設名	所在地	面積 (㎡)	宿泊使用想定面積 (㎡)	想定宿泊キャパシティ
新生ホール青苗	青苗	1,026	300	96名
神威脇生活改善センター	湯ノ浜	192	60	18名
奥尻町総合研修センター	青苗	754	220	67名
谷地生活館	奥尻	198	60	18名
宮津生活館	宮津	200	60	18名
薬師集会所	松江	83	25	8名
稲穂自治振興会館	稲穂	204	60	18名
赤石自治振興会館	赤石	209	60	18名
球浦自治振興会館	球浦	235	70	19名
勘太浜自治振興会館	稲穂	183	55	16名
東風泊自治振興会館	球浦	225	70	19名
稲穂タナギ会館	稲	295	90	27名
米岡自治振興会館	米岡	186	55	16名
初松前自治振興会館	松江	280	85	26名

各算出方法は以下の通りである。

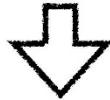
- ① 建物の総面積の30%が宿泊場所として利用可能と想定し、宿泊使用想定面積を算出
- ② 宿泊使用想定面積を25㎡で割り、収容可能な5m×5mの基本ユニットの数を算出
- ③ 基本ユニット一つ当りに8名宿泊可能として、想定宿泊キャパシティを算出

36

奥尻島全域での収容能力

～全ての条件が整い、集会所等も利用可能と仮定した場合
奥尻島において宿泊可能なキャパシティは883名～

- ①既存の民宿・旅館
最大収容人数：409名
- ②一時的宿泊所（3施設）
最大収容人数：90名
- ③集会所や自治振興会館
最大収容人数：384名



町内の公共施設が整備された後、可能となるキャパシティ

37

2-1. 可能性検証と課題の整理

2-2. 実現可能な解決方法

2-3. 奥尻島全域での収容能力の試算

2-4. 奥尻島滞在に必要なとなるインフラの課題

2-5. 今後の方向性、運営体制の検討

38

(1) 夕食

～～奥尻島内の夕食の最大提供可能人数は
7施設合計192名～

夕食会場		
地区	施設名	座席数
奥尻地区	叶寿司	66人
	居酒屋寿	20人
	Bella vista	16人
	実乃花	8人
	双葉寿司	7人
青苗地区	食堂潮騒	35人
	波止場	40人
		192人



奥尻島で夕方・夜間営業している飲食店は全部で7か所（仕事関係者専用施設を除く）。奥尻地区と青苗地区に集中している。

39

(2) 朝食

～～奥尻島内の朝食の最大提供可能人数は
5施設合計390名～

朝食(弁当)提供事業者		
地区	施設名	提供可能数
奥尻地区	まつや食堂	60人
	叶寿司	200人
	Bella vista	40人
	ひまわり弁当	50人
	セイコーマート奥尻店	40人
		390人



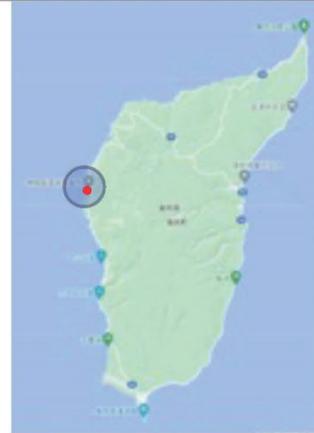
奥尻島で朝食を提供可能な店舗は全部で5か所ある。奥尻地区と青苗地区にのみ見られる。昼食場所は恒常的に不足気味であり、一時的宿泊所利用を含めた最大規模の499名が島内に宿泊した場合、食事サービスの中でも不足する可能性は昼食場所が最も大きい。

40

(3) 入浴施設

～奥尻島内の入浴施設は神威脇温泉のみ～

※一時的宿泊所に最大収容人員の90名が宿泊した場合、時間が重なった場合には利用できない状況も考えられる。
 ※特に каранセ奥尻が停泊する奥尻地区から離れているため、夕食時間やフェリーの門限などの関係上、利用しにくい面がある。



41

(4) レンタカー

～奥尻島内のレンタカーやハイヤー、公共交通機関だけでは最大宿泊客数を支えられない～

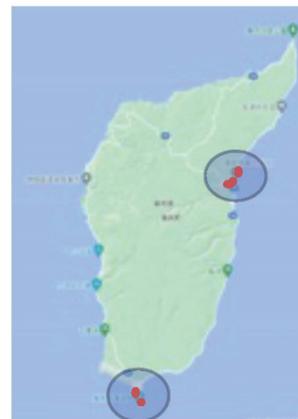
レンタカー台数

地区	施設名	軽自動車	ミニバン・ワゴン	合計
奥尻地区	奥尻レンタカー	6台	3台	9台
	奥尻かもめトラベルレンタカー	4台	1台	5台
	ホンダレンタカー-小林	1台		1台
	うにまるレンタカー	3台		3台
青苗地区	奥尻空港レンタカー	9台	3台	12台
	青苗ハイヤーレンタカー事業部	2台		2台
		25台	7台	32台

※夏場は5台

レンタカー乗車可能人員

地区	乗車定員	軽自動車 4人	ミニバン・ワゴン 6人	合計
奥尻地区	奥尻レンタカー	24人	18人	42人
	奥尻かもめトラベルレンタカー	16人	6人	22人
	ホンダレンタカー-小林	4人	0人	4人
	うにまるレンタカー	12人	0人	12人
青苗地区	奥尻空港レンタカー	36人	18人	54人
	青苗ハイヤーレンタカー事業部	8人	0人	8人
		100人	42人	142人



※島内に6事業者があり32台を所有。最大可能人数は142名である。

42

(5) 公共交通（バス）

～バスは通学や住民の移動のための利用が中心～

奥尻島内のバス運行は、北部方面と南部方面の2路線があり、原則通年運行する路線バスと学校通学の時間帯に設定しているスクール便があり、島の交通機関として利用されている。

- ◆保有台数：6台
- ◆平日 1日9便、土日・祝日・学校休日は1日8便
 - ・南回り（奥尻十字街―神威脇） 1日5便 所要時間60分
 - ・北回り（奥尻十字街―稲穂野名前） 1日4便 所要時間25分



※定員40名ほどの路線バスも1日4～5便ほどの運行であるため、これを利用した移動にも限界がある。

43

(3) 奥尻島滞在に必要なとなるインフラと課題

一時的宿泊所を含めた奥尻島の最大キャパシティ（499人）の利用に対し、最も不足するのは移動手段である。

夕食は、最大必要数に対して47人分不足する。
神居脇温泉で同時に入浴できるのは、一時的宿泊所の最大キャパの3分の1である。
レンタカーは、最大必要数の28%しか供給できない。

カテゴリ	施設数	提供可能人数	必要数	充足度	備考
夕食	7施設	192人	239人分	▲	夕食会場として利用可能
朝食	5施設	390人	189人分	○	弁当で提供
入浴	1施設	30人	90人分	○	男女各15人
レンタカー	6施設32台	142人	499人分	×	142人

※提供可能人数：奥尻島内の提供可能な施設の合計キャパシティ
※最大必要数：一時的宿泊所を含め奥尻島内の宿泊施設の最大収容人数まで宿泊した際に必要となる数量

44

2-1. 可能性検証と課題の整理

2-2. 実現可能な解決方法

2-3. 奥尻島全域での収容能力の試算

2-4. 奥尻島滞在に必要なとなるインフラの課題

2-5. 今後の方向性、運営体制の検討

45

今後の方向性

(1) 今後の方向性

- 通常の観光とは異なるケースでは、一時的宿泊所の利用ニーズが高まる可能性
- 地域の観光関係者からは一時的宿泊施設による課題解決への期待は大きい
- 「奥尻スタイル」の宿泊という新しいカテゴリを確立する取組が必要

(2) 今後の継続実施に向けた課題

- 宿泊場所の選定と運営体制に係る課題が残る
- 研修センターや集会所など町内の施設の活用が望まれる
- 新しい考え方を取り入れた運営体制の仕組みづくりが必要となってくる

46

今後の方向性

(3) 一時的宿泊施設の運営手法の磨き上げ

- 町内の幅広い関係者が連携・協力しながら新しい運営体制を模索すべき
- 運営スタッフは有料ボランティアの活用も必要
- これにより、宿泊施設の減少と担い手不足という二つの大きな課題を解決

(4) 一時的宿泊施設を通じて交流のあるまちづくりの実現を！

- 奥尻島への来訪者は、地元の住民との交流機会を求めるものが多い
- 一時的な宿泊施設の範囲を島内の各地域に広げ、来島者と町民の交流を促進
- 諸問題をひとつずつ解決しながら、町民の理解を得て集会所の活用を目指す

